

14	外 国 語 学 部
----	-----------

13年次生以前

14年次生以降は p.517～

©教育研究上の目的, 人材養成の目的, カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは, p.517を参照のこと。

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ

# 外国語学部説明 (学生は自分が所属する学科のページと必ず合わせて読むこと)

## 学科科目の構成について

外国語学部の学科科目は、以下の部分で構成される。

- ・外国語学部基礎科目：外国研究に必要なディシプリン（専門学問領域）の基礎知識の習得を目的とする学部共通の科目群からなり、原則として1, 2年次に修得すること。いずれも選択科目である。開講科目についてはp.734参照のこと。
- ・必修科目：卒業要件を満たすために学生が必ず履修しなければならない指定科目。
- ・選択科目：卒業要件に応じて特定の科目群から学生が自由に選択できる科目。

なお、「卒業に要する科目」の「学科科目」には、専門分野科目のほかに学科選択科目、他学部他学科科目、課程科目等で充当することもできる。学科によって充当できる内容が異なるので該当ページを参照すること。また、専門分野科目については、各自が選択した専門分野以外の専門分野科目も履修することができる。

## 専門分野について

- (1) 外国語学部各学科の学生は、下記の表に記載された各学科ごとに指定されている専門分野のうちから1つを2年次春学期末に選択し、外国語学部事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。

所属学科	各学科が指定する専門分野				
英語学科	英語研究	アメリカ研究 英国・英語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ドイツ語学科	ドイツ語研究	ドイツ語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
フランス語学科	フランス語研究	フランス語圏研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
イスパニア語学科	イスパニア語研究	イスパニア語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ロシア語学科	ロシア語研究	ロシア・ユーラシア研究 ヨーロッパ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究
ポルトガル語学科	ポルトガル語研究	ポルトガル語圏研究 ヨーロッパ研究 ラテンアメリカ研究	言語学研究	国際関係研究	アジア文化研究

- (2) 専門分野の届出

届出：外国語学部の学生は、2年次春学期終了時に、所属学科が指定する専門分野のうちのいずれか1つを選択し、所定の用紙によって外国語学部事務室に届け出なければならない。届出要領等はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

変更：届け出た専門分野は、2年次秋学期以降、卒業直前の学期を除き、変更することができる。ただし、変更によって各専門分野の所定の科目・単位を履修できない場合があるので、変更は慎重に行なうこと。

- (3) 専門分野の履修証明

取得：4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得し、かつ履修した専門分野が定める所定の単位を修得した学生は、4年次の12月に本人が申請することにより、履修した専門分野の履修証明の交付を受け、また翌年3月以降、履修証明を取得した者は、本人の申請により、成績証明書にその旨を記載することができる（申請から発行まで数日を要する）。自学科の卒業単位として認められる科目が、専門分野の科目リストに入っていれば、卒業単位としても、履修証明取得のための単位としてもカウントされる。履修証明の交付を受けようとする学生は、「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「Ⅱ」を同一の専門分野の科目として登録しなければならない。なお、専門分野の「履修証明」の取得は、卒業要件ではない。

申請：履修証明の申請は、成績証明書を添付のうえ、卒業論文または卒業研究の指導教員の所属する学科、または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究に提出する。申請の時期・申請要領等はLoyola掲示板（学科・専攻別）にて伝達する。

## 外国語学部開講科目における科目記号について

外国語学部で開講される科目で使用している記号は、原則として、以下の定義による。ただし学科、専門分野によっては例外的な記載があるので、各学科の該当ページを参照すること。

- ・ローマ数字のⅠ，Ⅱ… 科目段階区分：各学科の専攻外国語、卒業論文のようにⅠの科目を履修できなければⅡの科目を履修できない科目。
- ・アルファベットの大文字A，B… 科目の内容区分：同じ名称の科目だが講義内容が異なる科目。
- ・アラビア（算用）数字の1，2… 春学期，秋学期に区分される科目。
- ・アルファベットの小文字a，b… 科目のクラス区分：同じ科目のなかでのクラス分け。
- ・（他） 他学科開講科目
- ・（隔） 隔年開講科目
- ・（重） 重複履修可能科目（2回以上履修した場合、いずれも卒業に必要な単位として認められる。）

※備考欄に旧「○○○」と記載された科目は、科目名および上記の科目記号を変更したものである。

これらの科目は新科目と同一科目とみなすので、既に旧科目名で修得した科目は新科目名で履修しても、卒業に必要な単位として認められない。

なお、授業タイトルが英語で表記されている科目は、原則としてすべて英語で行われる。日本語タイトルの科目であっても、外国語で進められる授業もある。詳細はすべてシラバス（講義概要）を参照すること。

## 留学、編入学に伴う科目および単位認定について

留学した学生は帰国後、また編入した学生は編入後すみやかに、学事センターの所定用紙にて申請のうえ、単位認定を受けなければならない。認定を受けた科目を専門分野科目に充当したい場合は、外国語学部事務室に備え付けの用紙により、申請しなければならない。履修証明の申請の際は、その用紙と手続き完了後の単位認定願コピーを添付すること。

## 卒業論文・卒業研究について

### (1) 卒業論文と卒業研究の違い

卒業論文は、論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、注記、文献目録からなっていないといけない。指導は主査1人、または主査と主査の指名する副査の2人による。

卒業研究は、論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文とは異なるが、内容と完成に要する知的努力においては卒業論文と同等とみなせるものでなければならない。卒業研究のテーマになり得るかどうかについては、登録した専門分野の演習担当教員と相談すること。卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等の文書化されたもの（8,000字程度）からなる。指導は主査と副査の2人による。

### (2) 履修登録

- ① 卒業論文または卒業研究を提出しようとする学生は、卒業予定年次に「卒業論文・卒業研究Ⅰ」（3単位）「同Ⅱ」（3単位）を履修しなければならない。したがって、3年次生の登録は認められない。

「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、届け出た専門分野においてそれを履修しなければならない。専門分野の履修証明を取得するためには、「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」は必修であり、同一の専門分野であること。（以下Ⅰ，Ⅱと表記）

原則として、4年次の春学期にⅠを、秋学期にⅡを登録し、この2つの科目を、各々1科目ずつ2つの学期にまたがって、セットで履修すること。春学期に在学しているにもかかわらず、Ⅰを履修していない者は、秋学期でのⅠとⅡの同時履修は認められない。

学部共通
英
語
ポルトガル語
専門分野
言語学
専門分野
国際関係
専門分野
アジア文化
専門分野
ヨーロッパ
専門分野
アラブ
専門分野
メソポタミア
専門分野
カン

ただし、以下の場合については同時履修を認めることがあるので、外国語学部事務室に申し出ること。その場合、指導教員の許可をもらい、秋学期履修登録期間最終日までに外国語学部事務室に「卒業論文・卒業研究Ⅰ及びⅡの同時履修願」を提出する。同時履修を希望するにあたっては、十分な学習時間を取ることが前提である。

- ・ 留学、休学の理由で秋学期から戻った学生が卒業論文・卒業研究を提出し、当該学期末での卒業を希望する場合。
- ・ 留学、休学の理由で春学期から戻った学生が卒業論文・卒業研究を提出し、その年の9月の卒業を希望する場合。

なお、Ⅰを登録してから、留学、休学により、次学期よりあとにⅡを登録する場合は、別途指導教員の許可をもらうこと。Ⅰはその後、Ⅱの履修を中止した場合、もしくは卒業論文（卒業研究）を提出しなかった場合も単位として記録されるので、十分注意して履修すること。

- ② 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、卒業年次にLoyolaにて、指導教員の所属する学科または言語学研究、国際関係研究、アジア文化研究の各専門分野の登録コードで履修登録しなければならない。ただし、言語学研究所の学生は、指導教員の所属にかかわらず、言語学研究所の登録コードにて履修登録する。
- ③ 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」を履修する学生は、Loyolaでの履修登録とは別に、「卒業論文・卒業研究作成届」を外国語学部事務室に4月末日までに提出すること。
- ④ 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」の評価には、P（合格）・X（不合格）を使用する。

- \* 4年次生以上で9月卒業を希望し、卒業論文・卒業研究を作成したいケースについては、手続詳細を履修登録時にLoyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。

### (3)提出

卒業論文・卒業研究の提出要領は下記のとおりである。

- ・ 期間／時間：Loyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。
- ・ 提出方法：Loyola掲示板（学科・専攻別）にて通知する。
- ・ 執筆要領等：指導を受ける担当教員が所属する学科・専門分野のページを参照すること。

## 卒業

外国語学部の学生は、4年の修業年限を満了し、所属学科が定める「卒業に要する科目、単位数」を修得すると、学位「学士（外国研究）」が授与され、外国語学部を卒業することができる。

## ナンバリングについて

ナンバリングについては、履修要覧〔ガイド・資料編〕p.22～25を参照すること。

外国語学部の分野コード一覧

分野コード	分野名	分野コード	分野名
AAF	地域研究（アフリカ）	IRS	国際関係論
AEU	地域研究（ヨーロッパ）	LGC	言語聴覚障害学
ALA	地域研究（ラテンアメリカ）	LGE	言語学（英語教授法）
ANA	地域研究（北米）	LGF	言語学（フランス語）
ARE	地域研究（ロシア・ユーラシア）	LGG	言語学（ドイツ語）
ARS	地域研究	LGH	言語学（スペイン語）
ART	美術史	LGJ	言語学（日本語教授法）
ASA	地域研究（アジア）	LGP	言語学（ポルトガル語）
CMF	複合領域	LGR	言語学（ロシア語）
ELT	英文学	LIT	文学
ENG	英語	LNG	言語学
FRN	フランス語	PHL	哲学
GMN	ドイツ語	POR	（ブラジル）ポルトガル語
GRP	卒業論文	RUS	ロシア語
GST	グローバル・スタディーズ	SAC	留学
HSP	スペイン語	SOC	社会学
HST	歴史	TCP	教職科目
ICP	国際協力論		

学部共通  
英  
語  
ポルトガル語  
言語学  
国際関係  
アジア文化  
ヨーロッパ  
アラブ  
メソポ  
カン

## 外国語学部基礎科目 科目表 (8単位修得すること)

※以下の表に掲載の外国語学部基礎科目については、Loyolaの時間割（全学共通科目、外国語学部各研究コース）を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。なお、研究コース科目については、その科目がどの研究コース科目であるかを確認する必要がある。各学期初めにLoyolaの大学掲示板に掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示を参照のこと。

### (コ) 研究コース科目

グローバル・ヒストリー入門	2	(コ), 旧「歴史学研究入門」
国際関係論入門	2	(コ)
市民が関わる国際協力	2	(コ)
グローバルスタディーズ入門	2	(コ)
諸宗教における自然と人間	2	全学共通科目
言語と人間Ⅰ	2	全学共通科目
言語と人間Ⅱ	2	全学共通科目
メディア・対話・レトリックⅠ	2	全学共通科目
メディア・対話・レトリックⅡ	2	全学共通科目
メディア・対話・レトリックⅢ	2	全学共通科目
西洋美術史Ⅰ	2	全学共通科目
西洋美術史Ⅱ	2	全学共通科目
東南アジア史入門Ⅰ	2	全学共通科目
東南アジア史入門Ⅱ	2	全学共通科目
東南アジア研究入門	2	全学共通科目, 旧「東南アジア研究入門Ⅰ」
南アジア研究入門	2	全学共通科目
アフリカ研究入門	2	全学共通科目
中東イスラーム研究入門Ⅰ	2	全学共通科目, 旧「中東研究入門」
中東イスラーム研究入門Ⅱ	2	全学共通科目
歴史学Ⅰ（日本史）	2	全学共通科目
歴史学Ⅱ（東洋史）	2	全学共通科目
歴史学Ⅲ（西洋史）	2	全学共通科目
経済学	2	全学共通科目
社会学A	2	全学共通科目
社会学B	2	全学共通科目
社会学	2	全学共通科目
文化人類学Ⅰ a	2	全学共通科目
文化人類学Ⅰ b	2	全学共通科目

# 英語学科

## 〔教育研究上の目的〕

卓越した英語運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（言語学、人文・社会科学、英語圏に関する基礎知識）を修得すること。

## 〔人材養成の目的〕

英語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること。

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME＞学部・大学院＞学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

## 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

### 13年次生

#### 〈全学共通科目〉

必修	10単位	{ 体育 2単位 外国語科目 8単位
選択必修	4単位 [キリスト教人間学]	
選択	16単位	

#### 〈学科科目〉

外国語学部基礎科目*	8単位	
専攻科目	86単位	{ 必修 16単位 選択 70単位

---

合計 124単位

\* 外国語学部基礎科目についてはp.734参照。

学部共通  
英語

ポルトガル語

言語学

国際関係

アジア文化

ヨーロッパ

アラブ圏

## 2. 標準配当表

### 13年次生

#### ○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	ドイツ語・フランス語・イスパニア語・ロシア語・ポルトガル語・中国語・韓国語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語・日本語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

#### ○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
外国語学部基礎科目 (8単位)				8				
学科科目 (94単位)	必修 (16単位)	イングリッシュ・スキルズ101 (注1)	2	イングリッシュ・スキルズ201 (注8)	2			
		イングリッシュ・スキルズ102 (注2)	2	イングリッシュ・スキルズ202 (注9)	2			
		英作文101 (注3)	1	英作文201 (注10)	1			
		英作文102 (注4)	1	英作文202 (注11)	1			
	英米文化入門101 (注5)	2						
	英米文化入門102 (注6)	2						
専攻科目 (86単位)			[2年次英文講読] から4単位履修すること	4	[3・4年次選択科目] から16単位以上履修すること (注7)		16	
			[1・2年次選択科目] から8単位以上履修すること (注7)	8				
	選択 (70単位)	選択科目は以下の①～⑦から履修すること。 ①1・2年次選択科目 ②3・4年次選択科目 ③専門分野科目 (全学共通科目を除く) ④課程科目 (実習を除く) ⑤他学部・他学科の科目 ⑥学科科目としての外国語 (英語・英語選択科目を除く)。ただし、⑥は全学共通科目として選択したものと異なる1言語を4単位までとする。 ⑦SAIMSプログラム科目 (上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ)。詳細は、p.87を参照のこと。						42

(注1) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。

(注2) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。

(注3) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。

(注4) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。

(注5) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。

(注6) 未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。

(注7) 履修上の注意および科目表 (pp.740～741) を参照のこと。

(注8) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。

(注9) 未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。

(注10) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。

(注11) 未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。



学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ
メソ
カン

### 3. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明pp.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。
- \* 学則40条にもとづき、連続する2年間において合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

#### ① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.730および外国語学部基礎科目科目表p.734を参照すること。

#### ② 学科「必修科目」について

1年次、2年次履修の2種類から成る。

1・2年次必修科目は、英語を読み、書き、聴く、話す基礎力をつけることを目的とするため、すべてグループ指定である。

#### ③ 学科「選択科目」について

##### (1) 1・2年次選択科目

各専門分野の入門的な科目で、科目表に記載された科目から指定単位数（8単位）以上を履修する。

##### (2) 2年次英文講読

科目表に記載された科目から必要な単位数（4単位）を満たすよう履修する。

##### (3) 3・4年次選択科目

各専門分野の英語で講義が行われる科目で、科目表に記載された科目から指定単位数（**13年次生は16単位**）以上を履修する。

##### (4) 専門分野科目（全学共通科目を除く）

##### (5) 課程科目（実習を除く）

##### (6) 他学部・他学科の科目

科目の履修要覧やシラバスを参照したうえで、他学科生の履修可否について担当教員の確認を必要とする。

##### (7) 学科科目としての外国語

全学共通科目としての外国語科目で選択したものは異なる1言語（英語及び英語選択科目以外）を4単位まで「学科科目としての外国語」として「選択科目（42単位）」に充当する。

##### (8) SAIMSの科目（上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ）

#### ④ 専門分野について

(1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.730を参照のこと。

I. 英語研究

II. アメリカ研究

III. 英国・英語圏研究

IV. ヨーロッパ研究

V. 言語学研究

VI. 国際関係研究

VII. アジア文化研究

(2) 本学科が提供する専門分野（「英語研究」「アメリカ研究」「英国・英語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目 16単位

演習科目 4単位

卒業論文・卒業研究 6単位

専門分野が指定する科目は「科目表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」の履修証明取得に必要な単位および指定する科目は、それぞれのページに記載されている。

⑤ 履修にあたっての注意

- (1) 同じ名称の科目は2度目を履修しても卒業に必要な単位としては認められない。ただし重複履修可の科目は例外とする。4. 科目表右の表記を確認し該当する履修要覧ページ（各学科・研究コース）の開講科目担当表を参照すること。
- (2) **学科科目のうち [1・2年次英語必修科目] (16単位), [2年次英文講読] (4単位) は、いずれも定められた単位を超えて履修しても選択科目として卒業単位に充当することはできない。また、これらの単位の超過分は、3・4年次選択科目、専門分野科目にも充当することはできない。**
- (3) 1・2年次選択科目および3・4年次選択科目を必要以上に履修した場合は、すべて「選択科目 (42単位)」に充当する。
- (4) 他学部・他学科の「学科科目」を履修する場合は、その科目を担当する教員の許可を必要とする。
  1. 国際教養学部の科目履修の場合には、学事センターの指示に従い、所定の手続きをふむこと。
  2. 言語教育研究センターの英語及び英語選択科目を履修しても、卒業に必要な単位としては、認められない。
- (5) 必修科目の科目名が2014年度より変更したため、以下の点に注意すること。
  1. 「イングリッシュ・スキルズ101」未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-1」を履修すること。
  2. 「イングリッシュ・スキルズ102」未履修者は、「ENGLISH SKILLS A-2」を履修すること。
  3. 「英米文化入門101」未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1」を履修すること。
  4. 「英米文化入門102」未履修者は、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2」を履修すること。
  5. 「英作文101」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-1」を履修すること。
  6. 「英作文102」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION A-2」を履修すること。
  7. 「イングリッシュ・スキルズ201」未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-1」を履修すること。
  8. 「イングリッシュ・スキルズ202」未履修者は、「ENGLISH SKILLS B-2」を履修すること。
  9. 「英作文201」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-1」を履修すること。
  10. 「英作文202」未履修者は、「ENGLISH COMPOSITION B-2」を履修すること。
- (6) 科目表において、科目名右の「(コ)」は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については以下の通り行うこと。この記号のない科目の履修登録については、「英語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。
  1. Loyolaの「大学掲示板」に各学期初めに掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある。）
  2. Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修登録→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.731～732を読むこと。

科目コード、科目名、開講期等は下記の通りである。なお、「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」のページを参照すること。

開講元	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部 英語学科	605915	GRP410-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605915	GRP410-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605916	GRP411-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605916	GRP411-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2

注1：卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱは、「2.履修上の注意」, とくに⑤をよく読んだ上で作成にとりかかること。

注2：4年次生のみ履修可。

⑦ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

【2013年次生】

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

※春：春学期・1Q・2Q科目，秋：秋学期・3Q・4Q科目

4. 科目表 (数字は単位数)

- (英) 英語学科科目。英語学科の時間割を参照すること。
- (コ) 研究コース科目。各研究コースの時間割を参照すること。
- (他) 他学部他学科科目。記載の学部・学科の時間割を参照すること。

学科科目【専攻科目(必修科目)】

必修科目

[1・2年次英語必修科目] ※英語学科生のみ履修可

ENGLISH SKILLS A-1	2	旧「イングリッシュ・スキルズ101」
ENGLISH SKILLS A-2	2	旧「イングリッシュ・スキルズ102」
CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2	旧「英米文化入門101」
CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2	旧「英米文化入門102」
ENGLISH COMPOSITION A-1	1	旧「英作文101」
ENGLISH COMPOSITION A-2	1	旧「英作文102」
ENGLISH SKILLS B-1	2	旧「イングリッシュ・スキルズ201」
ENGLISH SKILLS B-2	2	旧「イングリッシュ・スキルズ202」
ENGLISH COMPOSITION B-1	1	旧「英作文201」
ENGLISH COMPOSITION B-2	1	旧「英作文202」

学科科目【専攻科目(選択科目)】

選択科目

[1・2年次選択科目]

北米地域研究入門 A-1	2	(コ)
北米地域研究入門 A-2	2	(コ)
北米地域研究入門 B-1	2	(コ), 旧「アメリカ研究入門 B」, 旧「アメリカ研究入門 B-I」
北米地域研究入門 B-2	2	(コ), 旧「アメリカ研究入門 B」, 旧「アメリカ研究入門 B-II」
シェイクスピア入門	4	(英), 旧「英国研究入門」
INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	(コ), 2020年度まで, 旧「言語習得入門」
INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	(英), 旧「心理言語学入門」
INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 1	2	(コ), 旧「英語学入門1」

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ文化

INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 2	2	(コ), 旧「英語学入門2」
英語音声学	2	(コ)

### [2年次英文講読]

AMERICAN STUDIES 1	2	(英), 旧「英文講読(アメリカ研究)I」
AMERICAN STUDIES 2	2	(英), 旧「英文講読(アメリカ研究)II」
MIGRATION STUDIES	2	(英), 旧「Asia-Pacific Studies 1」, 「英文講読(社会史)I」
THEORETICAL PERSPECTIVES ON LITERATURE	2	(英), 旧「英文講読(英国文化思想研究I)」, 旧「Theoretical Perspectives on Literature 1」
英文学講読1	2	(英), 旧「英文学講読(4単位)」
英文学講読2	2	(英), 旧「英文学講読(4単位)」
THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 1	2	(英), 旧「ENGLISH LINGUISTICS 1」
THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 2	2	(英), 旧「ENGLISH LINGUISTICS 2」
TOPICS IN LINGUISTICS A	2	(英), 旧「TOPICS IN LINGUISTICS 1」
TOPICS IN LINGUISTICS B	2	(英), 旧「TOPICS IN LINGUISTICS 2」

### [教職科目]

英語科教育法A	2	(英), 旧「英語科教育法I」
METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	(英), 「英語科教育法B」, 「英語科教育法II」
METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	(英), 旧「英語科教育法III」
METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	(英), 旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E(4単位)」, 「英語科教育法」

### [3・4年次選択科目]

AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	(コ), 旧「アメリカ女性史I」, 「アメリカ女性史1」
AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	(コ), 旧「アメリカ女性史II」, 「アメリカ女性史2」
BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	(コ), 旧「英国研究B」, 「英国研究B-I」, 「British Society and Literature 1」
BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	(コ), 旧「英国研究B」, 「英国研究B-II」, 「British Society and Literature 2」
CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	(コ), 旧「文化心理学1」
CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	(コ), 旧「文化心理学2」
HUMANS, ANIMALS AND NATURE	2	(英)
ANIMALS AND SOCIETY	2	(英)
HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	(コ), 旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史I」
HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	(コ), 旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史II」
BILINGUAL EDUCATION	4	(コ), 旧「バイリンガル教育」
INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	(コ), 旧「異文化交渉と英語I」
INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	(コ), 旧「異文化交渉と英語II」
FILM STUDIES	4	(英), 旧「FILM STUDIES 1」(2単位), 「FILM STUDIES 2」(2単位)
SOCIAL VIOLENCE 1	2	(英), 旧「社会暴力問題I」
SOCIAL VIOLENCE 2	2	(英), 旧「社会暴力問題II」
カナダの宗教	2	(コ)
AMERICAN THEATER AND FILM	4	(コ), 旧「アメリカ演劇・映画論」
SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 1	2	(コ), 旧「演習(アメリカ研究I)」, 「Seminar (American Studies) 1」

SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 2	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ研究Ⅱ)」, 「Seminar (American Studies) 2」
SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 1	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ史Ⅰ)」, 「Seminar (American History) 1」
SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 2	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ史Ⅱ)」, 「Seminar (American History) 2」
MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	(コ), 2020年度まで, 旧「マイノリティ教育Ⅰ」
MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	(コ), 2020年度まで, 旧「マイノリティ教育Ⅱ」
BRITISH ENVIRONMENTAL HISTORY AND PHILOSOPHY	2	(コ)
BRITISH PHILOSOPHY AND POLITICAL THEORY	2	(コ)
ENGLISH CONVERSATION 1A	1	(英), 旧「ENGLISH CONVERSATION A (2単位)」
ENGLISH CONVERSATION 1B	1	(英), 旧「ENGLISH CONVERSATION A (2単位)」
ENGLISH CONVERSATION 2A	1	(英), 旧「ENGLISH CONVERSATION B (2単位)」
ENGLISH CONVERSATION 2B	1	(英), 旧「ENGLISH CONVERSATION B (2単位)」
PRESENTATION SKILLS 1	2	(英), 旧「Presentation Skills」
PRESENTATION SKILLS 2	2	(英), 旧「Presentation Skills」
INTRODUCTION TO TRANSLATION	4	(英)
ACADEMIC WRITING 1	2	(英), 旧「Academic Writing I」
ACADEMIC WRITING 2	2	(英), 旧「Academic Writing II」
CREATIVE WRITING 1	2	(英)
CREATIVE WRITING 2	2	(英)
JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 1	2	(英), 旧「和文英訳」, 旧「和文英訳 1」
JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 2	2	(英), 旧「和文英訳」, 旧「和文英訳 2」
READING SKILLS A	2	(英), 旧「リーディング・スキルズ 1」, 「READING SKILLS 1」
READING SKILLS B	2	(英), 旧「リーディング・スキルズ 2」, 「READING SKILLS 2」
READING SKILLS C	2	(英)
READING SKILLS D	2	(英)
DISCUSSION AND DEBATE 1	2	(英)
DISCUSSION AND DEBATE 2	2	(英)
BUSINESS COMMUNICATION 1	2	(英), 旧「ビジネス・コミュニケーション 1」
BUSINESS COMMUNICATION 2	2	(英), 旧「ビジネス・コミュニケーション 2」
DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 1	2	(英), 旧「時事問題ディスカッション」, 「時事問題ディスカッション 1」
DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 2	2	(英), 旧「時事問題ディスカッション 2」
GLOBAL PERSPECTIVES	2	(英)
VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 1	2	(英)
VOCABULARY FOR ACADEMIC PURPOSES 2	2	(英)
INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2	全学共通科目
INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	全学共通科目
INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	全学共通科目
INTRODUCTION TO ART HISTORY/ VISUAL CULTURE 1	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO ART HISTORY/ VISUAL CULTURE 2	4	(他) 国際教養学部
LITERARY GENRES	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO JAPANESE LITERATURE	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO PHILOSOPHY	4	(他) 国際教養学部
PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	(他) 国際教養学部

学部共通
英
語
ポルトガル語
専門分野 言語学
専門分野 国際関係
専門分野 アジア文化
専門分野 ヨーロッパ
専門分野 アラビア

PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	(他) 国際教養学部
TECHNOLOGY AND NATURE IN JAPAN	2	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	(他) 国際教養学部
DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 1	4	(他) 国際教養学部
DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 2	4	(他) 国際教養学部
THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	(他) 国際教養学部
INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	(他) 国際教養学部

## [専門分野]

### I. 英語研究

#### (文献研究)

PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	(コ), 旧「差別の心理学」
SECOND LANGUAGE ACQUISITION 1	2	(コ), 旧「第2言語習得研究 1」
SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	2	(コ), 旧「第2言語習得研究 2」
MINORITY LANGUAGE EDUCATION 1	2	(コ), 2020年度まで, 旧「マイノリティ教育 I」
MINORITY LANGUAGE EDUCATION 2	2	(コ), 2020年度まで, 旧「マイノリティ教育 II」
BILINGUAL EDUCATION 1	2	(コ)
BILINGUAL EDUCATION 2	2	(コ)
PSYCHOLOGY OF LANGUAGE	2	(コ)

#### (英語学)

英語科教育法 A	2	(英), 旧「英語科教育法 I」
METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	(英), 旧「英語科教育法 B」, 「英語科教育法 II」
METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	(英), 旧「英語科教育法 III」
METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	(英), 旧「METHODS IN TEACHING ENGLISH E (4単位)」, 「英語科教育法」
GRAMMATICAL THEORY A	2	(コ), 旧「GRAMMATICAL THEORY」
GRAMMATICAL THEORY B	2	(コ)

#### (コミュニケーション)

SKILLS FOR STUDY ABROAD 1A	1	(英)
SKILLS FOR STUDY ABROAD 1B	1	(英)
SKILLS FOR STUDY ABROAD 2A	1	(英)
SKILLS FOR STUDY ABROAD 2B	1	(英)
BILINGUAL EDUCATION	4	(コ), 旧「バイリンガル教育」
INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	(コ), 旧「異文化交渉と英語 I」
INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	(コ), 旧「異文化交渉と英語 II」
INTRODUCTION TO INTERPRETING A-1	2	(コ), 旧「通訳入門 A - 1」
INTRODUCTION TO INTERPRETING A-2	2	(コ), 旧「通訳入門 A - 2」
通訳入門 B - 1	2	(コ)

通訳入門B-2	2	(コ)
通訳入門C-1	2	(コ)
通訳入門C-2	2	(コ)
SOCIOLINGUISTICS 1	2	(コ)
SOCIOLINGUISTICS 2	2	(コ)
英語と社会 1	2	(英)
英語と社会 2	2	(英)
INTRODUCTION TO TRANSLATION	4	(英)

**(演習)**

SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 1	2	(コ)
SEMINAR (FORMAL SYNTAX) 2	2	(コ)
SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 1	2	(コ), 旧「演習 (応用言語学) I」
SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 2	2	(コ), 旧「演習 (応用言語学) II」
SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 1	2	(コ), 旧「演習 (批判応用言語学 I)」
SEMINAR (CRITICAL APPLIED LINGUISTICS) 2	2	(コ), 旧「演習 (批判応用言語学 II)」
SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 1	2	(コ), 旧「演習 (社会言語学 I)」
SEMINAR (SOCIOLINGUISTICS) 2	2	(コ), 旧「演習 (社会言語学 II)」
演習 (音声学・音韻論) 1	2	(コ), 旧「演習 (音声学・音韻論 I)」
演習 (音声学・音韻論) 2	2	(コ), 旧「演習 (音声学・音韻論 II)」
SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	(コ)
SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	(コ)

**(卒業論文・卒業研究)**

卒業論文・卒業研究 I	3	(英)
卒業論文・卒業研究 II	3	(英)

**II. アメリカ研究**

**(歴史・政治)**

NORTH AMERICA IN THE WORLD	2	(コ)
INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 1	2	(コ), 旧「米国史概説 I」
INTRODUCTION TO HISTORY OF U.S.A. 2	2	(コ), 旧「米国史概説 II」
TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2	(コ), 旧「Topics in American History 1」, 「Topics in American History 2」, 「米国史特講 I」, 「米国史特講 II」
難民とアメリカ	4	(コ)
アメリカ社会史	4	(コ)
食のグローバル・ヒストリー	2	(コ)
HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	(コ), 旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史 I」
HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	(コ), 旧「太平洋日系移民史」, 「太平洋日系移民史 II」
AMERICAN WOMEN'S HISTORY 1	2	(コ), 旧「アメリカ女性史 I」, 「アメリカ女性史 I」
AMERICAN WOMEN'S HISTORY 2	2	(コ), 旧「アメリカ女性史 II」, 「アメリカ女性史 II」
海を越える女性史	2	(コ)
カナダの宗教	2	(コ)

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
専門メカニクス

WEALTH AND POVERTY IN NORTH AMERICA	2	(コ)
INTRODUCTION TO ASIAN AMERICAN STUDIES	2	(コ), 海外招聘客員教員担当科目
ASIAN AMERICAN RACE AND REPRESENTATION	2	(コ), 海外招聘客員教員担当科目

### (文化・芸術)

北米風土論	4	(コ)
AMERICAN THEATER AND FILM	4	(コ), 旧「アメリカ演劇・映画論」

### (経済・社会)

ISSUES IN AMERICAN SOCIETY	2	(コ)
経済入門 1	2	(コ)
経済入門 2	2	(コ)

### (演習)

SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 1	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ史 I)」, 「Seminar (American History) 1」
SEMINAR (NORTH AMERICAN HISTORY) 2	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ史 II)」, 「Seminar (American History) 2」
SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 1	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ研究 I)」, 「Seminar (American Studies) 1」
SEMINAR (NORTH AMERICAN STUDIES) 2	2	(コ), 旧「演習 (アメリカ研究 II)」, 「Seminar (American Studies) 2」
SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 1	2	(コ)
SEMINAR (QUALITATIVE METHODS IN PSYCHOLOGY) 2	2	(コ)
SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	(コ), 旧「演習 (移民と帝国 1)」
SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	(コ), 旧「演習 (移民と帝国 2)」
SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 1	2	(コ), 旧「演習 (アメリカメディア・フィルム I)」
SEMINAR (AMERICAN MEDIA AND FILM) 2	2	(コ), 旧「演習 (アメリカメディア・フィルム II)」
SEMINAR (TRANSPACIFIC JAPAN)	2	(英), 海外招聘客員教員科目

### (卒業論文・卒業研究)

卒業論文・卒業研究 I	3	(英)
卒業論文・卒業研究 II	3	(英)

## Ⅲ. 英国・英語圏研究

### (イギリス)

シェイクスピア演劇	2	(コ)
BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	(コ), 旧「英国研究 B」, 「英国研究 B-I」, 「British Society and Literature 1」
BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	(コ), 旧「英国研究 B」, 「英国研究 B-II」, 「British Society and Literature 2」
イギリス文化史概論	2	(コ)
EUROPEAN CINEMA 1	2	(コ), 旧「Contemporary European Cinema」
EUROPEAN CINEMA 2	2	(コ), 旧「Contemporary European Cinema」
CONTEMPORARY ISSUES IN THE UK AND IRELAND	2	(コ), 2020年度まで
BRITISH ENVIRONMENTAL HISTORY AND PHILOSOPHY	2	(コ)
BRITISH PHILOSOPHY AND POLITICAL THEORY	2	(コ)



## (英語文化圏)

BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 1	2	(コ)
BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 2	2	(コ)
アイルランド研究A	2	(コ), 旧「アイルランド研究1」
アイルランド研究B	2	(コ), 旧「アイルランド研究2」
TRADITION AND INNOVATION IN IRISH CULTURE	2	(コ)
食のグローバル・ヒストリー	2	(コ)
経済入門 1	2	(コ)
経済入門 2	2	(コ)
AUSTRALIAN SOCIETY 1	2	(英), 2019年度まで, 旧「オーストラリア社会 1」
AUSTRALIAN SOCIETY 2	2	(英), 2020年度まで, 旧「オーストラリア社会 2」
DIVERSITY AND INCLUSION IN EDUCATION 1	2	(英)
DIVERSITY AND INCLUSION IN EDUCATION 2	2	(英)

## (演習)

SEMINAR (AUSTRALIAN STUDIES) 1	2	(英), 2020年度まで, 旧「演習 (オーストラリア研究)」, 「演習 (オーストラリア研究 1)」
SEMINAR (AUSTRALIAN STUDIES) 2	2	(英), 2020年度まで, 旧「演習 (オーストラリア研究)」, 「演習 (オーストラリア研究 2)」
SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 1	2	(コ), 旧「演習 (移民と帝国 1)」
SEMINAR (GLOBALIZATION AND MIGRATION) 2	2	(コ), 旧「演習 (移民と帝国 2)」
演習 (英文学) 1	2	(コ), 旧「演習 (英文学) 1 (4単位)」
演習 (英文学) 2	2	(コ), 旧「演習 (英文学) 2 (4単位)」
SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 1	2	(コ)
SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 2	2	(コ)
演習 (イギリス文化・文学研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (イギリス文化・文学研究 1)」
演習 (イギリス文化・文学研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (イギリス文化・文学研究 2)」
SEMINAR (STUDIES IN BRITISH HISTORY AND CULTURE) 1	2	(コ)
SEMINAR (STUDIES IN BRITISH HISTORY AND CULTURE) 2	2	(コ)

## (卒業論文・卒業研究)

卒業論文・卒業研究 I	3	(英)
卒業論文・卒業研究 II	3	(英)

IV. ヨーロッパ研究, V. 言語学研究, VI. 国際関係研究, VII. アジア文化研究の各専門分野については, それぞれのページを参照のこと。

## 海外短期研修科目

STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON)	4	(英)
STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY)	2	(英), 旧「海外短期研修 (オックスフォード大学)」

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
専門メカニクス

---

---

# ポルトガル語学科

---

---

## 〔教育研究上の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ポルトガル語圏に関する基礎知識）を修得すること

## 〔人材養成の目的〕

ポルトガル語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

◎カリキュラム・ポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ホームページ、HOME＞学部・大学院＞学部・学科における教育研究上の目的及び人材養成の目的を参照のこと。

## 1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

### 13年次生

〈全学共通科目〉

必修	10単位	}	体育	2単位
			外国語科目	8単位
選択必修	4単位		[キリスト教人間学]	
選択	16単位			

〈学科科目〉

外国語学部基礎科目*	8単位			
専攻科目	86単位	}	必修科目	30単位
			選択科目	26単位
			専門分野その他	30単位
合計	124単位			

\* 外国語学部基礎科目についてはp.734参照。

## 2. 標準配当表

### 13年次生

#### ○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)							
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語・イスパニア語・ロシア語・中国語・コリア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語・イタリア語・ラテン語から1か国語	4	左記と同一の外国語	4			

#### ○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
外国語学部基礎科目 (8単位)	選択			8				
学科科目 (94単位)	必修 (30単位)	基礎ポルトガル語Ⅰ-1 (注1)	5	基礎ポルトガル語Ⅱ-1 (注3)	5			
		基礎ポルトガル語Ⅰ-2 (注2)	5	基礎ポルトガル語Ⅱ-2 (注4)	5			
		ポルトガル語圏研究入門	2	ポルトガル語圏アフリカ史	2			
		ポルトガル史	2	アジアとポルトガル語圏	2			
ブラジル史		2						
専攻科目 (26単位)	選択					総合ポルトガル語から8単位修得すること。但しそのうち2単位は4年次に修得すること。	8	
専攻科目 (86単位)	選択					本学科開講選択科目から履修すること。	18	
専門分野科目 (30単位)	その他					①専門分野科目（全学共通科目を除く）、②本学科開講選択科目、③課程科目（実習を除く）、④他学部・他学科の科目、⑤学科科目としての外国語（ポルトガル語を除く。ただし、全学共通科目として選択したものは異なる1言語を4単位までとする。）で充当する。	30	

注1：「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語Ⅰ-1（再履修者用）」を履修すること。

注2：「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2（再履修者用）」を履修すること。

注3：「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語Ⅱ-1（再履修者用）」を履修すること。

注4：「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を未修得の者は、「基礎ポルトガル語Ⅱ-2（再履修者用）」を履修すること。

学部共通  
英  
語  
ポルトガル語  
言語学  
国際関係  
アジア文化  
ヨーロッパ  
専門分野  
カン

### 3. 履修上の注意

#### 13年次生

- \* 外国語学部の説明p.730～734と合わせて読むこと。
  - \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。
  - \* 学則40条には、「連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する」とある。したがって、
    - 1) 連続する2か年で32単位を修得できなかった場合は、退学となる。
    - 2) 学科が各年次で指定する下記科目のうち、同一科目を連続する2か年において修得できなかった場合は、退学となる。
- 1年次：「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」  
○2年次：「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」
- ただし、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」について、履修の前提となる科目を修得できなかったために履修できなかった年度は、連続する2か年には計上しない。なお、「連続する2か年」の定義は履修要覧〔ガイド・資料編〕p.41を確認すること。

#### ① 外国語学部基礎科目について

外国語学部の説明p.730および外国語学部基礎科目科目表p.734を参照すること。

#### ② 学科「必修科目」について

- (1) 本学科の必修語学カリキュラムの基本構成は次のとおり。  
1年次 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」(春学期必修5単位), 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」(秋学期必修5単位)  
2年次 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」(春学期必修5単位), 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」(秋学期必修5単位)  
※「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅰ-1(再履修者用)」を、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅰ-2(再履修者用)」を履修すること。  
※「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅱ-1(再履修者用)」を、「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を未修得の者は「基礎ポルトガル語Ⅱ-2(再履修者用)」を履修すること。
- (2) 履修規則  
上記1～2年次の必修語学科目は、順を追って指定学年次に履修することを原則とし、単位が取得できない場合は、翌年再履修しなければならない。
- (3) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」を修得していない場合(評価F)は、「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」を履修することはできない。
- (4) 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」を修得していない場合(評価F)は、「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を履修することはできない。
- (5) 「基礎ポルトガル語Ⅰ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅰ-2」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-1」, 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」の各科目は履修要覧〔ガイド・資料編〕p.39の評価基準にかかわらず、正当な理由なくして、i) 出席率80%未満の場合、またはii) 試験欠席で評価不能の場合、不合格(評価F)とする。
- (6) 「地域研究入門」を未修得の者は、「ポルトガル語圏研究入門」を履修すること。

#### ③ 学科「選択科目」について

- (1) 「総合ポルトガル語」(8単位)
  - a. 「基礎ポルトガル語Ⅱ-2」を修得していない場合は、「総合ポルトガル語」および履修年次が「3・4」と指定されている本学科選択科目を履修することができない。
  - b. 3, 4年次生は「総合ポルトガル語科目」から8単位を修得しなければならない。8単位のうちの2単位は4年次で修得する必要がある。よって、3年次で卒業に必要な8単位すべてを修得することはできない。ただし基礎ポルトガル語再履修者はこの限りではない。
  - c. 「総合ポルトガル語」の修得単位の余剰分は、「学科指定の専門分野科目」(「ポルトガル語研究」及び「ポルトガル語圏研究」)の単位として充当する。
- (2) 「学科開講選択科目」(18単位)の余剰単位は「専門分野科目その他」の単位に充当する。

④ 専門分野について

(1) 2年次春学期末に下記の専門分野のうちから1つ選択し学科事務室に届け出なければならない（届出できる専門分野は6学科同一ではないので注意すること）。専門分野の届出についてはp.730を参照のこと。

- I. ポルトガル語研究
- II. ポルトガル語圏研究
- III. ヨーロッパ研究
- IV. ラテンアメリカ研究
- V. 言語学研究
- VI. 国際関係研究
- VII. アジア文化研究

(2) 本学科が提供する専門分野（「ポルトガル語研究」「ポルトガル語圏研究」）の履修証明取得に必要な26単位の内訳は以下のとおりである。研究科目は各専門分野が指定する講義科目、演習科目はゼミ形式の科目である。

研究科目	16単位
演習科目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位

専門分野が指定する科目は「科目表」を参照のこと。

「ヨーロッパ研究」「ラテンアメリカ研究」「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」各専門分野の履修証明取得に必要な単位および指定する科目はそれぞれのページに記載されている。

⑤ 時間割表について

科目表において、科目名右の「(コ)」は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については以下の通り行うこと。この記号のない科目の履修登録については、「ポルトガル語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

1. Loyolaの「大学掲示板」に各学期初めに掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある）
2. Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修登録→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥ 「専門分野科目その他」について

- (1) 他学部・他学科開講学科科目を履修する場合は、担当教員の許可を必要とする。
- (2) 「専門分野」の履修証明書取得希望者は、それぞれの専門分野履修規定にしたがって履修すること。

⑦ 卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.731～732を読むこと。

本学科の専門分野における卒業論文の執筆要領は、以下の通りである。

規格：縦長A4版・横書き。

執筆言語：日本語、あるいは指導教員と相談の上、外国語での執筆も可能である。

分量：日本語で執筆する場合20,000字以上40,000字以下、英語で執筆する場合10,000語以上20,000語以下、その他の言語で執筆する場合は上記相当量を基準とする。いずれも表紙、目次、注記、図表、文献目録を除く本文の分量である。より具体的な様式については指導教員の指示に従うこと。

要約：卒業論文を日本語で執筆する場合には外国語（A4版1枚程度）、外国語で執筆する場合には日本語（A4版1枚程度）の要約を、それぞれつけること。使用する外国語に関しては指導教員に相談すること。

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ文化

科目コード、科目名、開講期等は下記の通りである。なお、「言語学研究」「国際関係研究」「アジア文化研究」のページを参照すること。

開講元	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部 ポルトガル語学科	584606	GRP401-56j00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		
	584606	GRP401-56j00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		
	584607	GRP402-56j00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		
	584607	GRP402-56j00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		

#### ⑧ 外国語科目について

下記の1言語（初級、中級あるいは上級、計8単位）を履修する。ただし、8単位はすべて同一の言語とすること。履修にあたっては、p.110～を参照すること。

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、コリア語、インドネシア語、フィリピン語、アラビア語、イタリア語、ラテン語。

#### ⑨ 最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することは出来ない。

（注）春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

※春：春学期・1Q・2Q科目，秋：秋学期・3Q・4Q科目

## 4. 科目表

（ポ）ポルトガル語学科科目。ポルトガル語学科の時間割を参照すること。

（コ）研究コース科目。各研究コース科目の時間割を参照すること。

### 学科科目〔専攻科目（必修科目）〕

#### 必修科目

基礎ポルトガル語Ⅰ-1	6	（ポ）
基礎ポルトガル語Ⅰ-2	6	（ポ）
基礎ポルトガル語Ⅱ-1	6	（ポ）
基礎ポルトガル語Ⅱ-2	6	（ポ）
ポルトガル史	2	（ポ），旧「ポルトガル語圏の歴史B」
ブラジル史	2	（ポ），旧「ポルトガル語圏の歴史C」
ポルトガル語圏研究入門	2	（ポ），旧「地域研究入門」
ポルトガル語圏アフリカ史	2	（ポ），旧「ポルトガル語圏の歴史A」
アジアとポルトガル語圏	2	（ポ），旧「ポルトガル語圏の歴史D」

### 学科科目〔専攻科目（選択科目）・（副専攻科目その他）〕

#### 選択科目

#### 〔総合ポルトガル語科目〕〈12年次生以降対象〉

総合ポルトガル語A-1	1	（ポ）
-------------	---	-----

総合ポルトガル語A-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語B-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語B-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語C-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語C-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語D-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語D-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語E-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語E-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語F-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語F-2	1	(ポ)
総合ポルトガル語G-1	1	(ポ)
総合ポルトガル語H-1	1	(ポ)

### [その他]

ポルトガル語リーディング・ライティングA	2	(ポ)
ポルトガル語リーディング・ライティングB	2	(ポ)
ポルトガル語コミュニケーションスキル	2	(ポ)

### [教職科目]

ポルトガル語科教育法A	2	(ポ), 旧「ポルトガル語科教育法Ⅰ」
ポルトガル語科教育法B	2	(ポ), 旧「ポルトガル語科教育法Ⅱ」

### [専門分野]

#### I. ポルトガル語研究

##### (研究科目)

近現代ポルトガル研究	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講B」
ポルトガル語表現法	2	(ポ)
欧州ポ語	2	(ポ)
日ポ対照研究	2	(コ)
マカオの言葉と文化	2	(コ)
イベリア半島の社会と言語	2	(コ)
ポルトガル語統語論	2	(コ)
ポルトガル文学	2	(コ)
日ポ翻訳通訳入門	2	(コ), 旧「ポルトガル語翻訳通訳入門」
ブラジル文学	2	(コ)
ブラジル現代文学特講	2	(コ)
言語接触と日本語	2	(コ)
ポルトガル語とクレオール	2	(コ)
ポルトガル語科教育法A	2	(ポ), 旧「ポルトガル語科教育法Ⅰ」
ポルトガル語科教育法B	2	(ポ), 旧「ポルトガル語科教育法Ⅱ」

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ
メソ
カン

### (演習科目)

演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究1)」
演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究2)」
演習 (ブラジル文学研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (文学研究1)」
演習 (ブラジル文学研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (文学研究1)」
演習 (ポルトガル語学) 1	2	(コ)
演習 (ポルトガル語学) 2	2	(コ)

### (卒業論文・卒業研究)

卒業論文・卒業研究 I	3	(ボ)
卒業論文・卒業研究 II	3	(ボ)

## II. ポルトガル語圏研究

### (研究科目)

EUの現在と過去	2	(コ)
ヨーロッパ政治経済入門	2	(コ), 旧「ヨーロッパ政治論1」
ヨーロッパ政治経済論	2	(コ), 旧「ヨーロッパ政治論2」
ラ米経済概論	2	(コ)
ラ米現代史概論	2	(コ)
ラ米政治社会特論A	2	(コ)
ラ米政治社会特論B	2	(コ)
マカオの言葉と文化	2	(コ)
特講現代ブラジル国際関係	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講A」旧「現代ブラジル国際関係研究」
近現代ポルトガル研究	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講B」
現代アフリカ研究特講	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講D」
ポップカルチャー論	2	(コ)
ブラジル社会概論	2	(コ)
ブラジル経済論	2	(コ)
ブラジル政治概論	2	(コ), 旧「ブラジル政治論」
アフロ・ブラジル文化論	2	(コ)
ラ米産業論	2	(コ), 旧「ラ米産業論A」, 「ラ米産業論B」
日本・ラテンアメリカ比較教育論	2	(コ)
ブラジル社会開発協力	2	(コ)
特講ブラジル社会開発論	2	(コ), 旧「ブラジルの教育と開発」
欧州ポ語	2	(ボ)
ポルトガルの文化と社会	2	(コ)
ポルトガル文学	2	(コ)
ブラジル文学	2	(コ)
ブラジル現代文学特講	2	(コ)
ブラジルを眺望する：歴史から現代事情まで	2	(コ)



**(演習科目)**

演習 (アフロ・ブラジル研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (アフロ・ブラジル研究1)」
演習 (アフロ・ブラジル研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (アフロ・ブラジル研究2)」
演習 (ブラジル社会研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (開発協力研究1)」
演習 (ブラジル社会研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (開発協力研究2)」
演習 (ポップカルチャー研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ポップカルチャー1)」
演習 (ポップカルチャー研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ポップカルチャー2)」
演習 (ブラジル文学研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (文学研究1)」
演習 (ブラジル文学研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (文学研究2)」
演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究1)」
演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究2)」
演習 (ブラジル政治経済研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (政治経済研究1)」
演習 (ブラジル政治経済研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (政治経済研究2)」
演習 (在日ブラジル人教育・社会事情研究) 1	2	(コ)
演習 (在日ブラジル人教育・社会事情研究) 2	2	(コ)

**(卒業論文・卒業研究)**

卒業論文・卒業研究 I	3	(ポ)
卒業論文・卒業研究 II	3	(ポ)

Ⅲ. ヨーロッパ研究, Ⅳ. ラテンアメリカ研究, Ⅴ. 言語学研究, Ⅵ. 国際関係研究, Ⅶ. アジア文化研究の各専門分野については, それぞれのページを参照のこと。

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ
メソポタミア
カン

# 言語学研究専門分野（言語学副専攻）

## 1. 言語学研究専門分野（言語学副専攻）の開講科目は、次のように分類される。

I 全学共通科目（外国語学部基礎科目）

II 研究科目

1. 中心科目
2. 関連科目
3. 個別語学科目
4. 通訳科目

III 演習科目

IV 卒業論文・卒業研究

- \* 上記の科目は外国語学部の学生には言語学研究専門分野科目として、他学部の学生には言語学副専攻科目として開講される。
- \* 履修上の注意に指定された要件を満たした場合は、履修証明が交付される。
- \* 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない限り、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生については言語学研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

## 2. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明p.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。

### ① 履修証明取得に必要な単位と科目

研 究 科 目	16単位	（うち中心科目8単位、関連科目4単位、個別語学科目4単位）
演 習 科 目	4単位	
卒業論文・卒業研究	6単位	（言語学研究（副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」「同Ⅱ」各3単位）
合 計	26単位	

この他に全学共通科目（外国語学部基礎科目）「言語と人間Ⅰ、Ⅱ」4単位を履修しておくことが望ましい。

- (1) 外国語学部以外の学生は上記の条件を満たせば履修証明（言語学副専攻履修証明）を取得できる。
- (2) 外国語学部の学生が履修証明（言語学研究履修証明）を取得するためには「専門分野」として「言語学研究」を届出なければならない。届出手続きについては、外国語学部の説明p.730を参照のこと。
- (3) 個別語学科目に充当できるのは、科目表「個別語学科目」で指定した科目のうち、所属学科開講科目のみである。

### ② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生の申請手続きについては、外国語学部の説明p.730を参照すること。
- (3) 申請の時期・申請要領等は、Loyola掲示板（学科・専攻別）にて伝達する。

### ③ 時間割表について

科目表において、科目名右の「(コ)」の記号は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については以下の通り行うこと。

1. Loyolaの「大学掲示板」に各学期初めに掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある）
2. Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修登録→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

また、科目名右の「(英)」 「(ド)」 「(フ)」 「(イ)」 「(ロ)」 「(ポ)」 「(他)」 の記号については、科目表の指示に従って確認すること。

#### ④ その他の注意

- (1) 演習科目については、旧科目名で既に修得した科目を新科目名で履修した場合には、2回までの重複履修を認める。ただし、他学科開講の演習科目については、当該学科のページを参照し、その指示に従うこと。
- (2) 言語学特殊講義は担当者が変更になった場合のみ重複履修を認める。
- (3) 個別語学科目については、各学科のカリキュラムを参照すること。

#### ⑤ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は①「履修証明取得に必要な単位と科目」のうち、卒業論文・卒業研究以外の条件を既に満たすか、または卒業年度内に満たすことが予想される者に限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 登録  
言語学研究専門分野（言語学副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」、「同Ⅱ」を履修登録すること。また履修登録とは別に、「卒業論文・卒業研究作成届」を4月末日までに主査教授・言語学研究専門分野（副専攻）にそれぞれ提出すること。届出用紙はLoyola掲示板（学科・専攻別）に掲示する。  
科目コード、科目名、開講期等は下記の通りである。

開講元	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部	605911	GRP412-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注1
	605911	GRP412-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1
	605912	GRP413-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注1
	605912	GRP413-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1

注1：卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱは、「2.履修上の注意」とくに⑤をよく読んだ上で作成にとりかかること。

注2：4年次生のみ履修可。

- (3) 卒業論文 装丁・規格について  
規 格：A4判，縦書き・横書きどちらでも可  
その他：原則としてパソコンで書く。指導教員と相談の上、日本語以外での執筆も可  
詳細については指導教員の指示に従うこと。
- (4) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、「卒業論文・卒業研究Ⅰ」の履修登録者にLoyola授業掲示板より通知する。

### 3. 科目表（数字は単位数）

- (英) 英語学科開講科目。英語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (ド) ドイツ語学科開講科目。ドイツ語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (フ) フランス語学科開講科目。フランス語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (イ) スペイン語学科開講科目。スペイン語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (ロ) ロシア語学科開講科目。ロシア語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (ポ) ポルトガル語学科開講科目。ポルトガル語学科開講科目の時間割を参照すること。
- (コ) 研究コース科目。各研究コース科目の時間割を参照すること。
- (他) 他学部他学科科目。該当の学部学科科目の時間割を参照すること。

#### I 全学共通科目

言語と人間Ⅰ（外国語学部基礎科目）	2
言語と人間Ⅱ（外国語学部基礎科目）	2

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
メリアン

## II 研究科目

### 1. 中心科目

言語学概論1	2	(コ)
言語学概論2	2	(コ)
一般音声学1	2	(コ)
一般音声学2	2	(コ)
統辞論1	2	(コ), 旧「文法論1」
統辞論2	2	(コ), 旧「文法論2」
音韻論1	2	(コ)
音韻論2	2	(コ)
意味論1	2	(コ)
意味論2	2	(コ)
日本語学概説1	2	(コ)
日本語学概説2	2	(コ)

### 2. 関連科目

翻訳論	4	(コ)
言語処理入門	2	(コ), 2020年度まで
コーパス言語学と統計	2	(コ)
認知心理学Ⅰ (知覚・認知心理学)	2	(他) 心理学科, 旧「認知心理学Ⅰ」
認知心理学Ⅱ	2	(他) 心理学科
言語と認知1	2	(コ)
言語と認知2	2	(コ)
SOCIOLINGUISTICS1	2	(コ)
SOCIOLINGUISTICS2	2	(コ)
応用言語学研究入門1	2	(コ)
応用言語学研究入門2	2	(コ)
言語学史1	2	(コ)
言語学史2	2	(コ)
言語学特殊講義1 (ロマンス語研究)	2	(コ)
言語学特殊講義2 (ロマンス語研究)	2	(コ)
日本語史1	2	(コ)
日本語史2	2	(コ)
比較文法論 (日英語比較)	2	(コ)
言語聴覚障害学概論	2	(コ), 旧「言語障害学概論」
言語聴覚障害学特殊講義A (失語症)	2	(コ), 旧「言語障害学特殊講義A (失語症)」
言語聴覚障害学特殊講義B (言語発達遅滞)	2	(コ), 旧「言語障害学特殊講義B (言語発達遅滞)」
日本語教育入門1	2	(コ)
日本語教育入門2	2	(コ)
日本語教育学A (文法) 1	2	(コ)
日本語教育学A (文法) 2	2	(コ)
日本語教育学B (言語習得) 1	2	(コ)

日本語教育学B (言語習得) 2	2	(コ)
日本語教育学C (社会言語学) 1	2	(コ)
日本語教育学C (社会言語学) 2	2	(コ)
日本語教授法A (初級) 1	2	(コ)
日本語教授法A (初級) 2	2	(コ)
日本語教授法B (中上級) 1	2	(コ)
日本語教授法B (中上級) 2	2	(コ)
日本語教授法C (技能別) 1	2	(コ)
日本語教授法C (技能別) 2	2	(コ)

### 3. 個別語学科目

INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	(コ), 2020年度まで
INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	(英)
INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 1	2	(コ)
INTRODUCTION TO THE STUDY OF LANGUAGE 2	2	(コ)
BILINGUAL EDUCATION	4	(コ)
SECOND LANGUAGE ACQUISITION 1	2	(コ)
SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	2	(コ)
GRAMMATICAL THEORY A	2	(コ)
GRAMMATICAL THEORY B	2	(コ)
英語音声学	2	(コ)
英語科教育法A	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	(英)
METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	(英)
ドイツ文法	2	(コ)
ヨーロッパ言語社会論	2	(コ), 2019年度まで
ヨーロッパの社会と言語A	2	(コ)
ドイツ語圏の社会と言語	2	(コ)
ドイツ語科教育法A-1	2	(ド)
ドイツ語科教育法A-2	2	(ド)
ドイツ語科教育法B	2	(ド)
ドイツ語科教育法C	2	(ド)
フランス語学の諸問題A	2	(コ)
フランス語学の諸問題B	2	(コ)
フランス語学の諸問題C	2	(コ)
ヨーロッパの社会と言語B	2	(コ)
フランス語圏の社会と言語	2	(コ)
フランス語科教育法A	2	(フ)
フランス語科教育法B	2	(フ)
フランス語科教育法C	2	(フ)

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラビア
メソポタミア
カン

フランス語科教育法D	2	(フ)
西語学概論	2	(コ)
西語学特論A	2	(コ)
西語学特論B	2	(コ)
イスパニア語通訳入門	2	(コ)
イスパニア語科教育法A	2	(イ)
イスパニア語科教育法B	2	(イ)
ロシア語文法研究1	2	(コ)
ロシア語文法研究2	2	(コ)
ロシア語史	2	(コ)
ロシア語科教育法A	2	(ロ)
ロシア語科教育法B	2	(ロ)
ポルトガル語統語論	2	(コ)
イベリア半島の社会と言語	2	(コ)
近現代ポルトガル研究	2	(コ)
日ポ対照研究	2	(コ)
言語接触と日本語	2	(コ)
マカオの言葉と文化	2	(コ)
日ポ翻訳通訳入門	2	(コ)
ポルトガル語科教育法A	2	(ポ)
ポルトガル語科教育法B	2	(ポ)
日本語史 (HISTORY OF THE JAPANESE LANGUAGE)	4	(他) 国際教養学部
言語学諸論特講 (TOPICS IN LINGUISTICS)	4	(他) 国際教養学部

#### 4. 通訳科目

英語通訳基礎1	2	(コ)
英語通訳基礎2	2	(コ)
フランス語通訳入門	2	(コ)
独日翻訳入門A	2	(コ)
独日翻訳入門B	2	(コ)
ドイツ語通訳入門A	2	(コ)
ドイツ語通訳入門B	2	(コ)
TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 1	4	(他) 言語教育研究センター
TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 2	4	(他) 言語教育研究センター
TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH : THEORY AND PRACTICE	4	(他) 言語教育研究センター

### Ⅲ 演習科目

演習 (統辞論) 1	2	(コ), 旧「演習 (文法論・意味論) 1」
演習 (統辞論) 2	2	(コ), 旧「演習 (文法論・意味論) 2」
SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 1	2	(コ)
SEMINAR (APPLIED LINGUISTICS) 2	2	(コ)
演習 (日本語学) 1	2	(コ)

演習（日本語学）2	2	（コ）
演習（音声学・音韻論）1	2	（コ）
演習（音声学・音韻論）2	2	（コ）
演習（言語聴覚障害学）1	2	（コ）
演習（言語聴覚障害学）2	2	（コ）
演習（外国語教育学）1	2	（コ）
演習（外国語教育学）2	2	（コ）
SEMINAR（SOCIOLINGUISTICS）1	2	（コ）
SEMINAR（SOCIOLINGUISTICS）2	2	（コ）
SEMINAR（CRITICAL APPLIED LINGUISTICS）1	2	（コ）
SEMINAR（CRITICAL APPLIED LINGUISTICS）2	2	（コ）
演習（語の意味と語法）1	2	（コ）
演習（語の意味と語法）2	2	（コ）
演習（フランス語学）1	2	（コ）
演習（フランス語学）2	2	（コ）
演習（フランス語教育と異文化コミュニケーション）1	2	（コ）
演習（フランス語教育と異文化コミュニケーション）2	2	（コ）
演習（西語学A）1	2	（コ）
演習（西語学A）2	2	（コ）
演習（西語学B）1	2	（コ）
演習（西語学B）2	2	（コ）
演習（ロシア語学）1	2	（コ）
演習（ロシア語学）2	2	（コ）
演習（ルゾフォニア研究）1	2	（コ）
演習（ルゾフォニア研究）2	2	（コ）
演習（ポルトガル語学）1	2	（コ）
演習（ポルトガル語学）2	2	（コ）

#### IV 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	（コ）
卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	（コ）

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ圏

---

---

# 国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）

---

---

## 1. 国際関係論に関する開講科目は、次のように分類される。

- I 全学共通科目
- II 研究科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

- \* 上記の科目は外国語学部の学生には国際関係研究専門分野科目として、他学部の学生には国際関係副専攻科目として開講される。
- \* 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- \* 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない場合、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生については国際関係研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

## 2. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明pp.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。

### ① 履修証明取得に必要な単位と科目

全学共通科目	2単位
研究科目	10単位
演習科目	8単
卒業論文・卒業研究	6単位
合計	26単位

- (1) 外国語学部の学生が履修証明（国際関係研究履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「国際関係研究」を届け出なければならない。届出手続きについては外国語学部説明p.730を参照のこと。
- (2) 外国語学部以外の学生も上記の要件を満たせば履修証明（国際関係副専攻履修証明）を取得できる。
- (3) 科目については、3. 科目表を参照のこと。

### ② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生の申請手続きについては、外国語学部の説明p.730を参照すること。
- (3) 外国語学部以外の学生は、外国語学部宛に手続きをとること。手続きの詳細については、Loyola掲示板で告知する。

### ③ 時間割表について

国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）に関する開講科目については、Loyolaの時間割「総合グローバル学部」と「外国語学部各研究コース科目」を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

### ④ 演習科目について

- (1) 3・4年次にそれぞれ各1演習（半期集中4単位、または1・2に分割されているものは2単位・2単位の合計4単位）ずつ履修することが望ましい。但し、同一演習科目を2度履修しても単位として認める。
- (2) 「3科目表」備考欄の旧科目は、新科目と同一であるので注意すること。
- (3) 初回参加年次は3年次が望ましい。



- (4) 1・2に分割されている演習科目の2の履修は、1を既に履修したか、1相当の学力があることを前提とする。  
以上のことを考慮に入れ、シラバスを参照するほか、担当教員の指導を受けることが大切である。

⑤ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は①の条件を既に満たすか、または卒業年度内に満たすことが予想されるものに限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 卒業論文・卒業研究は、演習担当教員の指導のもとに在学最終年度に国際関係研究専門分野（国際関係副専攻）の「卒業論文・卒業研究Ⅰ」（3単位）、「同Ⅱ」（3単位）（合計6単位）を履修し、卒業論文・卒業研究を定められた期限内に提出すること。詳細は、Loyola掲示板（学科・専攻別）について通知する。
- (3) 登録

登録期間内にLoyolaで履修登録をし、演習担当教員と相談の上、所定の用紙3通に記入し、4月末日までに指導教員、所属学科長、外国語学部長にそれぞれ1通ずつ提出する。手続きの詳細については、Loyola大学掲示板で告知する。

科目コード、科目名、開講期等は下記の通りである。

開講元	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部	605913	GRP414-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605913	GRP414-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605914	GRP415-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605914	GRP415-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2

注1：卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱは、「2. 履修上の注意」, とくに⑤をよく読んだ上で作成にとりかかること。

注2：4年次生のみ履修可。

- (4) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、外国語学部の説明pp.731～732を読むこと。
- 卒業論文の規格については下記の通り。その他、詳細については指導教員の指示に従うこと。  
規格：A4判・横書き  
その他：・ワープロ：字数40字／行 行数30行／頁  
・指導教員と相談の上、日本語以外の言語での執筆も可

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ文化

### 3. 科目表 (数字は単位数)

(コ) 研究コース科目。各研究コース科目の時間割を参照すること。

(他) 総合グローバル学部科目。総合グローバル学部科目の時間割を参照すること。

#### I 全学共通科目

科学技術と国際関係	2
日本の外交・安全保障政策	2
国際政治史入門	2
INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2
国際機構論	2

#### II 研究科目

国際政治学	2	(他)
THEORY OF INTERNATIONAL POLITICS	2	(他)
国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 1	2	(他)
国際政治経済論 (政治学的アプローチ) 2	2	(他)
国際政治史1	2	(他)
国際政治史2	2	(他)
日本外交論	2	(他)
グローバル・ガバナンス論3	2	(他), 旧「国際制度論1」
グローバル・ガバナンス論4	2	(他), 旧「国際制度論2」
比較政治学1	2	(他)
比較政治学2	2	(他)
アメリカ政治外交1	2	(他)
アメリカ政治外交2	2	(他)
アメリカ研究	2	(他)
中国政治外交1	2	(他)
中国政治外交2	2	(他)
平和研究	2	(他)
紛争解決A	2	(他)
CONFLICT RESOLUTION B	2	(他)
EUと地域主義	2	(他)
EUと紛争解決	2	(他)
グローバリゼーションと市民社会1	2	(他), 旧「グローバリゼーションと市民社会」
グローバリゼーションと市民社会2	2	(他), 旧「グローバリゼーションと市民社会」
比較社会学	2	(他), 旧「比較社会学1」「比較社会学2」
国際社会学1	2	(他)
国際社会学2	2	(他)
フィールドワークの技法と実践	2	(他)
グローバル化と文化1	2	(他)
グローバル化と文化2	2	(他)

国際協力論1	2	(他)
国際協力論2	2	(他)
国際経済学1	2	(他)
国際経済学2	2	(他)
国際政治経済論（経済学的アプローチ）1	2	(他), 旧「国際政治経済論1」
国際政治経済論（経済学的アプローチ）2	2	(他), 旧「国際政治経済論2」
開発経済学	4	(他), 旧「開発経済論1」「開発経済論2」
グローバル化と発展途上国	4	(他), 旧「グローバル化と発展途上国1」「グローバル化と発展途上国2」
国際教育開発論1	2	(他)
国際教育開発論2	2	(他)
EDUCATION FOR MINORITIES IN JAPAN	2	(他)
特講（国際教育開発）	2	(他)
特講（現代日本政治）	2	(他)
特講（朝鮮半島をめぐる国際関係）	2	(他)
ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL ORGANIZATION C)	2	(他)
ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL HUMAN RIGHTS)	2	(他)
ADVANCED STUDIES (INTERNATIONAL ORGANIZATION B)	2	(他)
ADVANCED STUDIES (DEMOCRACY AND CONFLICT)	2	(他)

### Ⅲ 演習科目

演習（国際政治経済論・政治学的アプローチ）1	2	(他)
演習（国際政治経済論・政治学的アプローチ）2	2	(他)
演習（国際政治史）1	2	(他), 旧「演習（国際政治史1）」
演習（国際政治史）2	2	(他), 旧「演習（国際政治史2）」
演習（グローバル・ガバナンス論）1	2	(他), 旧「演習（国際制度論）1」
演習（グローバル・ガバナンス論）2	2	(他), 旧「演習（国際制度論）2」
演習（比較政治学）1	2	(他), 旧「演習（比較政治学1）」
演習（比較政治学）2	2	(他), 旧「演習（比較政治学2）」
演習（アメリカ政治外交）1	2	(他)
演習（アメリカ政治外交）2	2	(他)
演習（中国政治外交）1	2	(他)
演習（中国政治外交）2	2	(他)
演習（EUと紛争解決）1	2	(他)
演習（EUと紛争解決）2	2	(他)
演習（国際安全保障論）1	2	(他)
演習（国際安全保障論）2	2	(他)
演習（国際政治経済論・経済学的アプローチ）1	2	(他), 旧「演習（国際政治経済論）1」
演習（国際政治経済論・経済学的アプローチ）2	2	(他), 旧「演習（国際政治経済論）2」
演習（開発経済学）1	2	(他), 旧「演習（開発経済論1）」
演習（開発経済学）2	2	(他), 旧「演習（開発経済論2）」
演習（国際社会学）1	2	(他), 旧「演習（国際社会学1）」

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ
メソ
カン

演習（国際社会学）2	2	（他），旧「演習（国際社会学2）」
演習（グローバル市民社会論）1	2	（他），旧「演習（比較社会学1）」
演習（グローバル市民社会論）2	2	（他），旧「演習（比較社会学2）」
演習（国際協力論）1	2	（他）
演習（国際協力論）2	2	（他）
演習（国際教育開発論）1	2	（他）
演習（国際教育開発論）2	2	（他）
演習（比較教育学）1	2	（他）
演習（比較教育学）2	2	（他）

#### IV 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	（コ）
卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	（コ）

# アジア文化研究専門分野（アジア文化副専攻）

## 1. アジア文化研究専門分野の開講科目は、次のように分類される。

I 全学共通科目（外国語学部基礎科目）

II 地域研究科目

1. 東南アジア
2. 南アジア
3. 中東
4. アフリカ
5. 通地域

III 演習科目

IV 卒業論文・卒業研究  
(科目表参照)

- \* 上記の科目は、外国語学部の学生にはアジア文化研究専門分野科目として、他学部の学生にはアジア文化副専攻科目として開講される。
- \* 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- \* 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない限り、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生についてアジア文化研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

## 2. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明pp.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。

### ① 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 外国語学部の学生が履修証明（アジア文化研究専門分野履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「アジア文化研究」を届け出なければならない。届出手続きについては、外国語学部の説明p.730を参照のこと。
- (3) 外国語学部以外の学生が履修証明（アジア文化副専攻履修証明）を取得するためには、卒業論文提出後に所定用紙に必要事項を記入の上、外国語学部宛てに手続きを取ること。手続きの詳細については11月にLoyola掲示板（学科・専攻別）にて告知する。

### ② 履修証明取得に必要な単位と科目

地域研究科目	12単位	一覧にある地域研究科目以外に、言語教育研究センターが開講するアラビア語、インドネシア語、カンボジア語、スワヒリ語、タイ語、ヒンディー語、フィリピン語、ビルマ語、ベトナム語、ペルシア語、トルコ語の中から、2単位以上を修得することが望ましい。要覧の外国語科目p.110～を参照のこと。アジア・アフリカ諸語の単位は最大4単位まで地域研究科目として認められる。
演習科目	8単位	演習科目は1・2年次に履修することはできない。 同一の演習科目を3・4年次に重ねて履修することができる。 同一教員の担当する演習科目を、3・4年次の春学期・秋学期にそれぞれ1演習2単位ずつ、2年間にわたり履修するのが望ましい。
卒業論文・卒業研究	6単位	
合計	26単位	

学部共通	英語
専門分野	ポルトガル語
専門分野	言語学
専門分野	国際関係
専門分野	アジア文化
専門分野	ヨーロッパ
専門分野	アラビア
専門分野	メソポタミア
専門分野	カン

- (1) 上記26単位のほかに、全学共通科目（外国語学部基礎科目）より、東南アジア、南アジア、中東、アフリカ関係の科目を4単位以上修得することが望ましい。
- (2) 外国語学部以外の学生がアジア文化副専攻履修証明の取得を希望する場合は、所属学部の単位から最大6単位まで単位の読み替えをすることができる。ただし、どの科目の単位が読み替え可能であるかについては、外国語学部長に相談すること。

### ③ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は、原則として演習科目を8単位以上修得した者、または卒業までに修得が見込まれる者に限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 卒業論文・卒業研究を作成しようとする者は、春学期履修登録期間中に必ず卒業論文・卒業研究Ⅰの履修登録をし、指導教員（原則として2年間にわたり履修する演習科目の担当教員）と相談の上、所定の届出用紙3通に記入し、4月末日までに指導教員、所属学科長、外国語学部長にそれぞれ1通ずつ提出する。手続きの詳細については4月にLoyola大学掲示板にて告知する。また、秋学期に卒業論文・卒業研究Ⅱの履修登録を忘れないよう注意すること。秋学期卒業予定等の学生は、外国語学部長に相談すること。  
科目コード、科目名、開講期等は下記の通りである。

開講元	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部	605915	GRP410-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605915	GRP410-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605916	GRP411-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	春	演習科目担当教員	4		注1, 注2
	605916	GRP411-50m00	卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	秋	演習科目担当教員	4		注1, 注2

注1：卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱは、「2. 履修上の注意」とくに⑤をよく読んだ上で作成にとりかかること。

注2：4年次生のみ履修可。

- (3) 卒業論文・卒業研究の内容・提出については、外国語学部の説明pp.731～732を読むこと。

\* 卒業論文は縦長A4判横書きとする。日本語により執筆するが、指導教員と相談の上で、他の言語を使用してもよい。長さの目安については日本語の場合、20,000字～40,000字、英語（欧語）の場合、8,000語～12,000語を標準とする。

### ④ 時間割表について

アジア文化研究専門分野（アジア文化副専攻）に関する開講科目については、Loyolaの時間割「総合グローバル学部」と「外国語学部各研究コース科目」を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

### 3. 科目表 (数字は単位数)

(コ) 研究コース科目。各研究コース科目の時間割を参照すること。

(他) 総合グローバル学部科目。総合グローバル学部科目の時間割を参照すること。

#### I 全学共通科目

東南アジア史入門Ⅰ	2
東南アジア史入門Ⅱ	2
東南アジア研究入門	2
南アジア研究入門	2
東アジア研究入門	2
中東イスラーム研究入門Ⅰ	2
中東イスラーム研究入門Ⅱ	2
アフリカ研究入門	2

#### II 地域研究科目

##### 1. 東南アジア

東南アジア考古学	2	(他), 旧「東南アジア考古学1」
東南アジア史(前近代)	2	(他)
東南アジア史(近現代)1	2	(他), 旧「東南アジア史1」
東南アジア史(近現代)2	2	(他)
東南アジアのイスラームと社会	2	(他)
東南アジアの教育と文化	2	(他)

##### 2. 南アジア

SOCIETY AND POLITICS IN SOUTH ASIA	2	(他)
南アジア史	2	(他)
南アジア社会経済論	2	(他)

##### 3. 中東

中東イスラーム史(前近代)	2	(他)
中東政治史	2	(他) 旧「中東政治史1」, 旧「中東イスラーム史B(近現代)1」
中東政治論	2	(他)
CONTEMPORARY SOCIETIES OF THE MIDDLE EAST	2	(他)
民衆イスラーム論	2	(他), 旧「民衆イスラーム論」, 旧「中東イスラーム研究特講C」
イスラームとジェンダー	2	(他), 旧「中東文化論A」, 旧「中東文化人類学A」
中東イスラーム思想論	2	(他), 旧「中東イスラーム思想論1」
中東芸術論	2	(他)
トルコ語圏研究	2	(他)
SOCIAL HISTORY OF THE MIDDLE EAST	2	(他)
シーア派社会論	2	(他), 旧「現代シーア派社会論」

学部共通
英語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ文化

#### 4. アフリカ

アフリカ史	2	(他)
アフリカ政治論	2	(他)
アフリカ開発論	2	(他), 旧「アフリカ開発協力論」
アフリカ社会経済論	2	(他)
アフリカ社会論	2	(他)
LIFE AND CULTURE IN AFRICA	2	(他)
アフリカ・ジェンダー論	2	(他)
現代アフリカ研究	2	(他)
特講 (アフリカの社会と文化)	2	(他)
特講 (アフリカの家族と親族)	2	(他)

#### 5. 通地域

アジア文化遺産研究	2	(他), 旧「アジア文化遺産研究1」
アジアの環境と開発	2	(他)
NGOと社会運動の人類学	2	(他)
アジアとグローバル企業	2	(他)
アジアの人権問題	2	(他)
朝鮮半島の社会と文化	2	(他)
東北アジア社会論	2	(他)
アジア政治研究	2	(他)
特講 (文化財保存と国際協力)	2	(他), 旧「アジア文化財保存と国際協力」, 旧「アジア文化遺産研究2」
ADVANCED STUDIES (CULTURES AND SOCIETIES OF ASIA)	2	(他)
特講 (通地域研究)	2	(他)
ADVANCED STUDIES (GLOBAL MIGRATION AND KOREANS IN JAPAN)	2	(他)
ADVANCED STUDIES (CONTEMPORARY SOCIETIES OF ASIA)	2	(他)

### Ⅲ 演習科目

演習 (アジア研究A) 1	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究A) 1」
演習 (アジア研究A) 2	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究A) 2」
演習 (アジア研究B) 1	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究B) 1」
演習 (アジア研究B) 2	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究B) 2」
演習 (アジア研究C) 1	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究C) 1」
演習 (アジア研究C) 2	2	(他), 旧「演習 (東南アジア地域研究C) 2」
演習 (アジア研究D) 1	2	(他)
演習 (アジア研究D) 2	2	(他)
演習 (アジア研究E) 1	2	(他)
演習 (アジア研究E) 2	2	(他)
SEMINAR (ASIAN STUDIES F) 1	2	(他)
SEMINAR (ASIAN STUDIES F) 2	2	(他)
演習 (中東・アフリカ研究A) 1	2	(他), 旧「演習 (中東イスラム地域研究A) 1」
演習 (中東・アフリカ研究A) 2	2	(他), 旧「演習 (中東イスラム地域研究A) 2」



演習（中東・アフリカ研究B）1	2	（他），旧「演習（中東イスラム地域研究B）1」
演習（中東・アフリカ研究B）2	2	（他），旧「演習（中東イスラム地域研究B）2」
演習（中東・アフリカ研究C）1	2	（他），旧「演習（中東イスラム地域研究C）1」
演習（中東・アフリカ研究C）2	2	（他），旧「演習（中東イスラム地域研究C）2」
演習（中東・アフリカ研究D）1	2	（他）
演習（中東・アフリカ研究D）2	2	（他）
演習（中東・アフリカ研究E）1	2	（他）
演習（中東・アフリカ研究E）2	2	（他）
演習（中東・アフリカ研究F）1	2	（他）
演習（中東・アフリカ研究F）2	2	（他）

#### IV 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究 I	3	（コ）
卒業論文・卒業研究 II	3	（コ）

学部共通
英語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ圏

# ヨーロッパ研究専門分野

本専門分野は、外国語学部6学科所属の学生を対象とするもので、以下の視点をもってヨーロッパ地域について研究することを主たる目的とする。

- \* ヨーロッパ地域全域に関わる事象
- \* ヨーロッパ地域の国ないしはサブリージョン間の関係、比較に関わる事象
- \* EUないしはEUと構成国との関係に関わる事象

## 1. ヨーロッパ研究専門分野に関する開講科目は、次のように分類される。

- I 研究科目
- II 演習科目
- III 卒業論文・卒業研究

- \* 履修上の注意に指定された要件を満たした場合、履修証明が交付される。
- \* 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない場合、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生についてヨーロッパ研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

## 2. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明pp.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。

### ① 履修証明取得に必要な単位と科目

研 究 科 目	16単位
演 習 科 目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	26単位

外国語学部の学生が履修証明（ヨーロッパ研究専門分野履修証明）を取得するためには、「専門分野」として所属学科に「ヨーロッパ研究」を届け出なければならない。届出手続きについては外国語学部説明p.730を参照のこと。

### ② 履修証明の交付について

- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
- (2) 履修証明の申請手続きについては、外国語学部の説明p.730を参照すること。申請の時期・申請要領等は、Loyola 掲示板（学科・専攻別）にて伝達する。

### ③ 時間割表について

ヨーロッパ研究専門分野に関する開講科目については、Loyolaの英語学科、イスパニア語学科、ポルトガル語学科、各研究コース、他学部他学科の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。時間割の表示については、3. 科目表に記載があるので確認すること。

なお、科目表にある「(コ)」は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については以下の通り行うこと。

- (1) Loyolaの「大学掲示板」に各学期初めに掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある。）
- (2) Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修登録→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

「(英)」 「(イ)」 「(ポ)」 「(他)」 は、それぞれ英語学科科目、イスパニア語学科科目、ポルトガル語学科科目、他学部他

学科科目であることを指す。Loyolaのそれぞれの学科の時間割を参照すること。

#### ④ 研究科目について

- (1) 一般外国語科目のうちの、全学共通科目で選択した必修外国語（8単位）以外の言語のうち、英語、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ポルトガル語、ロシア語、イタリア語の単位は2単位を限度として研究科目に含めることができる（各自の所属学科の専攻言語は除く）。ただし、全ての学科で卒業要件に含まれるわけではないので、卒業要件として算入できるかどうかは各自の学科の「履修上の注意 外国語科目について」を参照すること。
- (2) 【研究科目】は、[基礎科目]、[共通科目]、[中心科目]に下位分類する。
- (3) [基礎科目]は、2科目4単位が必修である。
- (4) [共通科目]と[中心科目]から12単位を履修すること。その中には少なくとも4単位の他学科開講科目が含まれていなければならない。これらの科目をヨーロッパ研究として履修する場合は、各学科が指定する「履修年次」に拘束されない。

### 3. 科目表（数字は単位数）

- (英) 英語学科科目。英語学科の時間割を参照すること。  
 (イ) イスパニア語学科科目。イスパニア語学科の時間割を参照すること。  
 (ポ) ポルトガル語学科科目。ポルトガル語学科の時間割を参照すること。  
 (コ) 研究コース科目。各研究コースの時間割を参照すること。  
 (他) 他学部他学科科目。記載の学部・学科の時間割を参照すること。

#### 【研究科目】

##### 【基礎科目】 ※2010年度から

原則として、外国語学部生でヨーロッパ研究専門分野を履修する学生のための科目である。外国語学部基礎科目ではないので注意すること。

ヨーロッパ地域研究入門	2	2017年度まで
ヨーロッパの宗教と社会	2	2019年度まで
INTRODUCTION TO EUROPEAN STUDIES	2	2015年度まで
ヨーロッパ政治経済入門	2	(コ), 旧「ヨーロッパ政治論1」
ヨーロッパ言語社会論	2	2019年度まで, 旧「ヨーロッパ言語社会論1」
ヨーロッパの言語と宗教	2	(コ)
ヨーロッパの芸術と文化	2	(コ), 旧「ヨーロッパの芸術」
中東欧地域研究入門	2	(コ)
ヨーロッパ世界とキリスト教	2	2010年度のみ

#### 【共通科目】

ヨーロッパ政治経済論	2	(コ), 旧「ヨーロッパ政治論2」
ヨーロッパ統合の政治と経済	2	2013年度まで
EUの現在と過去	2	(コ)
フランス文化研究C-2 (フランスとヨーロッパ)	2	2013年度まで
ヨーロッパの社会と言語A	2	(コ), 旧「ヨーロッパ言語社会論3」
ヨーロッパの社会と言語B	2	(コ), 旧「ヨーロッパ言語社会論4」
ドイツ語圏の社会と言語	2	(コ)
フランス語圏の社会と言語	2	(コ), 旧「ヨーロッパ言語社会論2」
ロシア・ユーラシアの国際関係B-2	2	2015年度まで

学部共通
英語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
専門メジャー分野カン

ロシア・ユーラシアの国際関係B	2	(コ), 旧「ロシア・ユーラシアの国際関係B-1」「同B-2」
ロシア・ユーラシアの経済A-1	2	2015年度まで
ロシア・ユーラシア経済概論	2	(コ), 旧「ロシア・ユーラシアの経済A-1」「同A-2」
ポップカルチャー論	2	(コ)

## [中心科目]

### I. 文化・文学

西洋美術史	2	(他) 史学科
西洋美術概論 I (SURVEY OF WESTERN ART 1)	4	(他) 国際教養学部
西洋美術概論 II (SURVEY OF WESTERN ART 2)	4	(他) 国際教養学部
シェイクスピア入門	4	(英), 旧「英国研究入門」
シェイクスピア演劇 A	4	2015年度まで, 旧「英国演劇」
シェイクスピア演劇 B	4	2015年度まで, 旧「英国研究 A」
シェイクスピア演劇	2	(コ)
BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	(コ), 旧「英国研究B」, 旧「英国研究B-I」, 旧「British Society and Literature 1」
BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	(コ), 旧「英国研究B」, 旧「英国研究B-II」, 旧「British Society and Literature 2」
EUROPEAN CINEMA 1	2	(コ), 旧「Contemporary European Cinema」
EUROPEAN CINEMA 2	2	(コ), 旧「Contemporary European Cinema」
アイルランド研究 A	2	(コ), 旧「アイルランド研究1」
アイルランド研究 B	2	(コ), 旧「アイルランド研究2」
オーストリア文化史1	2	2015年度まで
オーストリア文化史2	2	2015年度まで
オーストリア文化史	2	(コ), 旧「オーストリア文化史1」「同2」
ドイツ音楽1	2	2015年度まで
ドイツ音楽2	2	2015年度まで
ドイツ音楽	2	(コ), 旧「ドイツ音楽1」「同2」
ドイツ語圏美術	2	(コ), 旧「ドイツ語圏研究特講」
フランス近代芸術の歴史と理論	2	2019年度まで, 旧「フランス文化研究A-1 (近代芸術の歴史と理論)」
フランス文化研究F-1 (フランスのシャンソン)	2	2013年度まで
西・西米文学史1	2	2014年度まで
西・西米文学特講	2	(コ)
西美術史A-1	2	2015年度まで, 旧「西・西米美術史A-1」
西美術史A-2	2	2015年度まで, 旧「西・西米美術史A-2」
西美術史B-1	2	2015年度まで, 旧「西・西米美術史B-1」
西美術史B-2	2	2015年度まで, 旧「西・西米美術史B-2」
西美術史概論	2	(コ), 旧「西・西米美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」「西美術史A-1」「同A-2」「同B-1」「同B-2」
西美術史特論	2	(コ)
イスパニア語圏研究入門	2	(イ)
ロシア・ユーラシア文化入門1	2	(コ), 旧「ロシア文化入門1」
ロシア・ユーラシア文化入門2	2	(コ), 旧「ロシア文化入門2」
ロシア演劇A-1	2	2015年度まで
ロシア演劇A	2	(コ), 旧「ロシア演劇A-1」「同A-2」

ロシア演劇B-1	2	(コ)
ロシア演劇B-2	2	(コ)
欧州ボ語	2	(ボ)
ポルトガル文学	2	(コ)
ポルトガルの文化と社会	2	(コ)

## II. 歴史・思想

ヨーロッパ現代史 (HISTORY OF MODERN EUROPE)	4	2013年度まで
ヨーロッパ思想	2	(コ)
ドイツ近現代史1	2	2015年度まで
ドイツ近現代史2	2	2015年度まで
ドイツ近現代史	2	(コ), 旧「ドイツ近現代史1」「同2」
フランス語圏の歴史研究1	2	2015年度まで, 旧「フランス史研究1」
フランス語圏の歴史研究2	2	2015年度まで, 旧「フランス史研究2」
フランス語圏の歴史研究	2	2019年度まで
フランス近現代史研究	2	(コ)
フランス哲学の会話	2	(コ)
フランスの文学と思想1	2	2016年度まで
フランスの文学と思想2	2	2016年度まで
西概史	2	(コ)
イベリア半島の社会と言語A	2	2016年度まで, 旧「西語史A」
西史特講A	2	(コ)
西史特講B	2	(コ)
近現代スペイン研究	2	(コ)
ポルトガル語圏アフリカ史	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏の歴史A」
ポルトガル史	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏の歴史B」
近現代ポルトガル研究	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講B」

## III. 社会・政治・経済

INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 1	2	2015年度まで, 旧「Special Topics in Globalization 1」
INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 2	2	2015年度まで, 旧「Special Topics in Globalization 2」
英国地理1	2	2013年度まで
英国地理2	2	2013年度まで
ドイツ政治研究1	2	2015年度まで
ドイツ政治研究2	2	2015年度まで
ドイツ政治研究	2	(コ), 旧「ドイツ政治研究1」「同2」
ヨーロッパにおけるドイツ政治	2	2019年度のみ
EU - 法と社会	2	(コ), 旧「EU法」
スイス社会事情	2	(コ), 旧「スイス事情1」
スイス事情2	2	2013年度まで
国際関係論A (フランスとEU)	2	2015年度まで, 旧「フランス文化研究B-1 (フランス政治研究)」

学部共通
英語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ文化

国際関係論B (フランスとEU)	2	2015年度まで, 旧「フランス文化研究B-2 (国際関係論—フランスとEU—)」
現代フランス社会研究1	2	2016年度まで
現代フランス社会研究2	2	2016年度まで
フランス語圏宗教研究概論	2	2019年度まで
フランス語圏宗教研究特論	2	2019年度まで
フランス宗教社会学	2	2019年度まで
フランス政治研究	2	(コ)
ロシア・ユーラシアの国際関係A-2	2	2015年度まで
ロシア・ユーラシアの国際関係A	2	(コ), 旧「ロシア・ユーラシアの国際関係A-1」「同A-2」
ロシア政治・外交A-2	2	(コ)
ロシア政治・外交B-2	2	2015年度まで
ロシア政治・外交B	2	(コ), 旧「ロシア政治・外交B-1」「同B-2」
ヨーロッパ環境法	2	(他) 法学部

## 【演習科目】

### I. 文化・文学

演習 (英文学) 1	2	(コ), 旧「演習 (英文学) 1 (4単位)」
演習 (英文学) 2	2	(コ), 旧「演習 (英文学) 2 (4単位)」
SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 1	2	(コ)
SEMINAR (BRITISH CREATIVE CULTURE) 2	2	(コ)
演習 (イギリス文化・文学研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (イギリス文化・文学研究1)」
演習 (イギリス文化・文学研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (イギリス文化・文学研究2)」
演習 (現代ドイツ文化論) 1	2	(コ)
演習 (現代ドイツ文化論) 2	2	(コ)
演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 1	2	(コ)
演習 (フランス語教育と異文化コミュニケーション) 2	2	(コ)
演習 (通訳とフランス文化理解) 1	2	2019年度まで
演習 (通訳とフランス文化理解) 2	2	2019年度まで
演習 (西美術) 1	2	(コ)
演習 (西美術) 2	2	(コ)
演習 (西・西米演劇研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (西・西米演劇1)」
演習 (西・西米演劇研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (西・西米演劇2)」
演習 (ルゾフォニア研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究1)」
演習 (ルゾフォニア研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ルゾフォニア研究2)」
演習 (ポップカルチャー研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ポップカルチャー1)」
演習 (ポップカルチャー研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ポップカルチャー2)」

### II. 歴史・思想

演習 (ドイツ思想) 1	2	(コ)
演習 (ドイツ思想) 2	2	(コ)
演習 (フランス語圏の歴史) 1	2	(コ)

演習（フランス語圏の歴史）2	2	（コ）
演習（フランス近代思想・文化）1	2	2016年度まで
演習（フランス近代思想・文化）2	2	2016年度まで
演習（日々の哲学：フランス哲学入門）1	2	（コ）
演習（日々の哲学：フランス哲学入門）2	2	（コ）
演習（西史）1	2	（コ）
演習（西史）2	2	（コ）

### Ⅲ. 社会・政治

SEMINAR (INTERNATIONAL LOVE-HATE RELATIONS) 1	2	2015年度まで, 旧「Seminar (Global Politics) 1」
SEMINAR (INTERNATIONAL LOVE-HATE RELATIONS) 2	2	2015年度まで, 旧「Seminar (Global Politics) 2」
SÉMINAIRE (APPRENDRE LE MONDE EN FRANÇAIS)	2	2015年度まで, 旧「Séminaire (Études Sur Les Relations Internationales)」
演習（日独社会研究）1	2	（コ）, 旧「演習（ドイツ社会研究）1」
演習（日独社会研究）2	2	（コ）, 旧「演習（ドイツ社会研究）2」
演習（日本とヨーロッパの政治）1	2	（コ）, 旧「演習（日独比較政治）1」
演習（日本とヨーロッパの政治）2	2	（コ）, 旧「演習（日独比較政治）2」
演習（ドイツのエネルギー転換）	2	2019年度のみ
演習（フランス宗教学）1	2	2018年度まで
演習（フランス宗教学）2	2	2018年度まで
演習（フランス社会）1	2	2016年度まで
演習（フランス社会）2	2	2016年度まで
演習（日仏比較政治）1	2	（コ）
演習（日仏比較政治）2	2	（コ）
演習（ロシア政治・外交）1	2	（コ）
演習（ロシア政治・外交）2	2	（コ）

### 【卒業論文・卒業研究】

卒業論文・卒業研究Ⅰ	3	指導教員の所属する学科に登録すること
卒業論文・卒業研究Ⅱ	3	指導教員の所属する学科に登録すること

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
専門メカニクス

※科目コード，開講期，担当者等の詳細は開講元の科目表を参照すること。ドイツ語学科，フランス語学科，イスパニア語学科，ロシア語学科については，以下を参照すること。

学科	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部 ドイツ語学科	539911	GRP411-52j00	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		
	539911	GRP411-52j00	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		
	539912	GRP412-52j00	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		
	539912	GRP412-52j00	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		
外国語学部 フランス語学科	548131	GRP401-53m00	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		
	548131	GRP401-53m00	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		
	548132	GRP402-53m00	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		
	548132	GRP402-53m00	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		
外国語学部 イスパニア語学科	558621	GRP401-54m00	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		
	558621	GRP401-54m00	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		
	558622	GRP402-54m00	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		
	558622	GRP402-54m00	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		
外国語学部 ロシア語学科	579707	GRP401-55m00	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		
	579707	GRP401-55m00	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		
	579708	GRP402-55m00	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		
	579708	GRP402-55m00	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		



# ラテンアメリカ研究専門分野

本専門分野は、イスパニア語学科およびポルトガル語学科所属の学生を対象とするもので、以下の視点をもってラテンアメリカ地域について研究することを主たる目的としている。

- \* ラテンアメリカ地域全域に関わる事象
- \* 複数の国にまたがるサブリージョン（亜地域）の事象
- \* ラテンアメリカ地域の国ないしはサブリージョン間の諸関係、比較に関わる事象

## 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明p.730～734と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.731に解説があるので参照すること。

### ① 履修証明取得に必要な単位と科目

研 究 科 目	16単位	〔 研究科目は各専門分野が指定する 講義科目、演習科目はゼミ形式の科目 〕
演 習 科 目	4単位	
卒業論文・卒業研究	6単位	
合 計	26単位	

- \* 本専門分野の指定科目は下記の一覧に掲載されたものである。科目の詳細および使用言語については提供学科のページおよび講義概要を見ること。
- \* 研究科目16単位のうち4単位は「研究入門科目」の単位で充当しなければならない。
- \* イスパニア語学科の学生は「ポルトガル語圏アフリカ史」(旧「ポルトガル語圏の歴史A」)(2単位)、ポルトガル語学科の学生は「西・西米文化入門2」(2011年度からは「イスパニア語圏研究入門」)(2単位)を履修しなければならない。これらの科目をラテンアメリカ研究として履修する場合は、各学科が指定する「履修年次」に拘束されないが、できるだけ早く履修すること。

### ② 時間割表について

ラテンアメリカ研究専門分野に関する開講科目については、Loyolaのイスパニア語学科、ポルトガル語学科、各研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。時間割の表示については、2. 科目表に記載があるので、確認すること。

なお、科目表にある「(コ)」は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については以下の通り行うこと。

- (1) Loyolaの「大学掲示板」に各学期初めに掲載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある。）
- (2) Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修登録→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

「(イ)」「(ポ)」は、それぞれイスパニア語学科科目、ポルトガル語学科科目であることを指す。Loyolaのそれぞれの学科の時間割を参照すること。

### ③ 卒業論文・卒業研究

卒業論文・卒業研究の履修登録・内容・提出については、外国語学部の説明pp.731～732を読むこと。

卒業論文・卒業研究を履修する学生はLoyolaにて指導教員のいる学科に履修登録をする。登録している学科の卒業論文・卒業研究についての説明も参照すること。さらにこの履修登録とは別に、卒業論文・卒業研究作成届（各学科所定）を登録した学科と自分の所属する学科の両方に提出すること。

留学を予定している学生で卒業論文・卒業研究の履修を希望する学生は、留学前に上記の届け出を行い、帰国後最初の履修登録期間に履修登録すること。

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アラブ・メソポタミア

## 2. 科目表 (数字は単位数)

- (イ) イスパニア語学科の時間割を参照すること。
- (ポ) ポルトガル語学科の時間割を参照すること。
- (コ) 各研究コースの時間割を参照すること。

### 【研究科目】

#### [研究入門科目]

イスパニア語圏研究入門	2	(イ)
西・西米文化入門1	2	2010年度まで
西・西米文化入門2	2	2010年度まで
ポルトガル語圏アフリカ史	2	(ポ), 旧「ポルトガル語圏の歴史A」
ラテンアメリカ地域研究入門	2	(コ)

#### [基礎科目]

イスパニア語圏社会文化概論	2	2020年度まで
ラ米経済概論	2	(コ)
ラ米政治社会概論1	2	2015年度まで
ラ米政治社会概論2	2	2015年度まで
ラ米現代史概論	2	(コ)
西米先住民研究概論	2	2011年度まで
ラ米産業論A	2	2014年度まで
ラ米産業論B	2	2014年度まで
ラ米産業論	2	(コ)
ポップカルチャー論	2	(コ)

#### [中心科目]

イスパニア語圏社会文化特論	2	2020年度まで
イベリア半島の社会と言語A	2	2016年度まで, 旧「西語史A」
イベリア半島の社会と言語B	2	2016年度まで, 旧「西語史B」
カリブ地域文化論	2	(コ)
西語史B	2	2013年度まで
西米概史	2	(コ)
ラ米先住民の歴史と社会	2	(コ)
西米美術特講	2	2016年度まで
ラテンアメリカ 音楽と社会	2	2020年度まで
西・西米文学史2	2	2014年度まで
西・西米文学特講	2	(コ)
ラ米経済特論A	2	2015年度まで
ラ米経済特論B	2	2015年度まで
ラ米経済特論	2	(コ)
ラ米政治社会特論	2	2019年度まで

ラ米政治社会特論 A	2	(コ)
ラ米政治社会特論 B	2	(コ)
ラ米文学特講	2	(コ)
日本・ラテンアメリカ比較演習 (比較文学)	2	2019年度まで
日本・ラテンアメリカ比較演習 (経済発展)	2	2019年度まで
日本・ラテンアメリカ比較演習 (社会開発と社会運動)	2	2019年度まで
日本・ラテンアメリカ比較演習 (日本とブラジルの経済)	2	2019年度まで
日本・ラテンアメリカ比較演習 (在日ブラジル人教育事情)	2	2019年度まで, 旧「在日ブラジル人教育事情」
日本・ラテンアメリカ比較教育論	2	(コ)
ブラジル社会論	2	2010年度まで
ブラジル社会論1	2	2016年度まで
ブラジル社会論2	2	2015年度まで
ブラジル社会概論	2	(コ)
ブラジル経済論	2	(コ)
ブラジル政治論	2	2015年度まで
ブラジル政治概論	2	(コ), 旧「ブラジル政治論」
ブラジルの教育と開発	2	2015年度まで
特講ブラジル社会開発論	2	(コ), 旧「ブラジルの教育と開発」
ブラジル対外関係論	2	2015年度まで
ブラジル文学	2	(コ)
ブラジル現代文学特講	2	(コ)
ブラジルを眺望する: 歴史から現代事情まで	2	(コ)
ブラジルの社会運動	2	2016年度まで
ブラジル社会開発協力	2	(コ)
ブラジル史	2	(ポ), 旧「ポルトガル語圏の歴史C」
アジアとポルトガル語圏	2	(ポ), 旧「ポルトガル語圏の歴史D」
現代ブラジル国際関係研究	2	2015年度まで, 旧「ポルトガル語圏研究特講A」
特講現代ブラジル国際関係	2	(コ), 旧「現代ブラジル国際関係研究」
ポルトガル語圏研究特講C	2	2013年度まで
ブラジル国際労働力移動論	2	2013年度まで
ポルトガル語圏研究特講D	2	2013年度まで
現代アフリカ研究特講	2	(コ), 旧「ポルトガル語圏研究特講D」
アフロ・ブラジル文化論	2	(コ)
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	2	2015年度まで, 旧「グローバル化特講1」
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 2	2	2015年度まで, 旧「グローバル化特講2」

学部共通
英
語
ポルトガル語
言語学
国際関係
アジア文化
ヨーロッパ
アフリカ
メタ
カン

### 【演習科目】

演習 (イスパニア語圏社会文化) 1	2	2020年度まで
演習 (イスパニア語圏社会文化) 2	2	2020年度まで
演習 (ラ米社会研究) 1	2	(コ), 旧「演習 (ラ米社会1)」
演習 (ラ米社会研究) 2	2	(コ), 旧「演習 (ラ米社会2)」

演習（ラ米経済研究）1	2	（コ），旧「演習（ラ米経済1）」
演習（ラ米経済研究）2	2	（コ），旧「演習（ラ米経済2）」
演習（西米文学研究）1	2	（コ），旧「演習（西・西米文学1）」
演習（西米文学研究）2	2	（コ），旧「演習（西・西米文学2）」
演習（西・西米演劇研究）1	2	（コ），旧「演習（西・西米演劇1）」
演習（西・西米演劇研究）2	2	（コ），旧「演習（西・西米演劇2）」
演習（ブラジル政治経済研究）1	2	（コ），旧「演習（政治経済研究1）」
演習（ブラジル政治経済研究）2	2	（コ），旧「演習（政治経済研究2）」
演習（ポップカルチャー研究）1	2	（コ），旧「演習（ポップカルチャー1）」
演習（ポップカルチャー研究）2	2	（コ），旧「演習（ポップカルチャー2）」
演習（ブラジル社会研究）1	2	（コ），旧「演習（開発協力研究1）」
演習（ブラジル社会研究）2	2	（コ），旧「演習（開発協力研究2）」
演習（アフロ・ブラジル研究）1	2	（コ），旧「演習（アフロ・ブラジル研究1）」
演習（アフロ・ブラジル研究）2	2	（コ），旧「演習（アフロ・ブラジル研究2）」
演習（在日ブラジル人教育・社会事情研究）1	2	（コ）
演習（在日ブラジル人教育・社会事情研究）2	2	（コ）

#### 【卒業論文・卒業研究】

卒業論文・卒業研究I	3	指導教員の所属する学科に登録すること
卒業論文・卒業研究II	3	指導教員の所属する学科に登録すること

※科目コード，開講期，担当者等の詳細は開講元の科目表を参照すること。イスパニア語学科については，以下を参照すること。

学科	科目コード	ナンバリング	科目名	単位	開講期	担当教員	年次	外国語	備考
外国語学部 イスパニア語学科	558621	GRP401-54m00	卒業論文・卒業研究 I	3	春	演習科目担当教員	4		
	558621	GRP401-54m00	卒業論文・卒業研究 I	3	秋	演習科目担当教員	4		
	558622	GRP402-54m00	卒業論文・卒業研究 II	3	春	演習科目担当教員	4		
	558622	GRP402-54m00	卒業論文・卒業研究 II	3	秋	演習科目担当教員	4		